

創立50周年記念誌

歩み

名古屋ニットファッション卸商業組合

組合史発刊に際して

名古屋ニットファッション卸商業組合

理事長 山口兼市



このたび、名古屋ニットファッション卸商業組合は設立 50 周年を迎えることが出来ました。これもひとえに 50 年の歴史の中で、先輩諸氏が切磋琢磨し、数多くの事業活動に取り組み、絶え間ない努力を続けてこられたからこそ、今日があると強く感じ入る次第でございます。その過程においては、オイルショックやバブル経済の崩壊など、幾多の試練・困難も経験してまいりました。その度に先輩諸氏は厳しい時代を生き抜くため、知恵と努力の限りを尽くし、時代を見越したビジネスを展開してこられました。加えて、関係各位の永年にわたるご支援、ご鞭撻の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

今日、ビジネス形態は大きく変化するとともに、グローバル化がますます進んでおります。また、多種多様な価値観が並存し、売り場も変化を遂げるといった多難な時代を迎えておりますが、このような激動の世界を乗り越えていくためには、私達組合員同士が力を合わせ、新しい流れを読み取るとともに、その対応策を見つけ出し、自社の企業経営に取り入れていく努力をすること、困難な状況下でも希望を抱き続けること、そして組合員各企業における社員同士の団結が大事であると考えております。

これからも当組合と、組合員企業が健全な発展を遂げていけるように努めてまいり所存でございます。今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成 23 年 11 月

表題は 4 代目理事長横山章一書



祝辞

先人の足跡を後世へ

名古屋市長 河村たかし

名古屋ニットファッション卸商業組合が創立 50 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

昭和 37 年 3 月に貴組合が創立されて以来、歴代の理事長、役員をはじめ組合員の皆様におかれましては、当地域のニット卸商業界の発展に、多大なるご貢献をいただいております。

今日、名古屋が東京、大阪と肩を並べるニットの集積地としての地位を築きあげることが出来たのも、こうした皆様のご尽力があったからこそであり、深く敬意を表します。

本市にも、先人から受け継いだ素晴らしい歴史や財産がございます。

これらを後世に引き継ぎ、「歴史に残る街・ナゴヤ」を市民の皆様とともに築いてまいりたいと考えておりますので、ニットファッション卸商業界に携わる皆様におかれましては、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

創立 50 周年を迎えられました貴組合のさらなるご発展並びに組合員はじめ関係の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念致します。

平成 23 年 11 月



祝辞

一層の飛躍を

名古屋商工会議所会頭 高橋治朗

名古屋ニットファッション卸商業組合が本年度にめでたく創立 50 周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。まず先般の東北地方を中心とする東日本大震災で、犠牲になられました多くの方々にご遺族の皆様に対し心よりお悔やみ申し上げます。また、被災されました方々に対しまして衷心よりお見舞い申し上げます。

さて名古屋ニットファッション卸商業組合は、昭和 37 年に設立以来、当地区の繊維卸売流通業界の牽引役として歩んでこられました。また、昭和 33 年 4 月 1 日に施行された「中小企業団体の組織に関する法律」に基づき、愛知県内で唯一の商業組合として、当地域の中小企業の活性化の一翼を担われるなど、貴組合の多年に亘るご努力とその功績に対し敬意を表するとともに、今後とも貴組合の果たす役割は益々重要になっていかれると確信しております。

近年の経済環境は、グローバル化に伴う生産活動の海外展開や既存産業の成熟化等による産業構造の変革が急速に進んでおり、その変化に的確に対応することが求められております。

これに加え、東日本大震災の影響もあり、需要と供給の両面において大いなる変化が予測され、この変化に的確に対応し、諸々の課題を克服していかれるためには、ニット業界をはじめ繊維業界においても研究開発力や技術開発力の向上が強く求められているところであります。

こうした中で貴組合におかれましては、日々たゆまなくニット卸売業に関する研究、指導、教育、情報収集などでニット卸売業界や組合員に対し、尽力されておられることを大変心強く存じている次第であります。

50 周年という歴史的節目を新たな出発点として、貴組合が一層の飛躍をされるとともに貴組合の益々の発展と繁栄をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

平成 23 年 11 月

歩み

名古屋ニットファッション卸商業組合創立50周年記念誌

【目次】

| | |
|---------------------------------|-----|
| 理事長挨拶 | 3 |
| 祝辞 | 4 |
| メリヤス万歳 ～名古屋ニット商人伝・この道を拓いた人達～ | 7 |
| 組合50年の足跡 | 25 |
| 歴代理事長の紹介 | 35 |
| 50年史 | 43 |
| 50周年記念実行委員会の活動を振り返って | 94 |
| 役員並びに組合員名簿 | 97 |
| 組合ホームページの紹介 | 100 |
| 編集後記 年々歳々 | 103 |

メリヤス万歳

～名古屋ニット商人伝・この道を拓いた人達～

次頁地図は昭和33(1958)年当時のものです

(「メリヤスの地図」1958年最新版・株式会社センイ・ジヤナル発行)

独立自尊

前田源一郎

福沢諭吉の「独立自尊」(人に頼らず何事も独力で事を行い、自己の人格の尊厳を保つこと)という言葉がある。私もこの気概を自己の考えや行動の規範としてきた。自己を信じ、敏捷果敢に行動を起こし、何事にも誠実に処してきた。

昭和19(1944)年4月、召集を受けて中支(中国の揚子江と黄河に挟まれた地域=現在の華中)に赴き、陸軍少尉として苦難の軍隊生活を送る中、考えさせられることも多かった。そうした中で一つの境地に達し、以後の人生に処していることがある。「やることだけはきっちりやり、ネジメケジメをはっきりする」ということである。当時、40余年の人生の中で、戦地での軍隊生活は極めてエポックメイキングな経験であった。

私は、愛知県海部郡甚目寺町(現在のあま市)の大地主、水野家に生まれ、幼名を文一といった。大卒後、この地方の親しい有力者、田島一義氏の世話で昭和7(1932)年2月、前田家を継ぎ、同時に前田合名会社に入社した。先代没後の昭和10(1935)年10月には源一郎を襲名、代表社員となった。

同社の前身は荒物雑貨商で、私の曾祖父・辰次郎氏が遠く明治20年代に創業したものである。先代の前田源一郎氏の代に至り、洋品雑貨卸商の形態を備え、大正9(1920)年1月、前田合名会社の組織とした。会社が一大飛躍したのは、関東大震災後であった。

前田家は士族の出であるが、代々商売熱心で、先代源一郎氏は極めて堅実かつ積極的な努力型の人であった。名古屋の商人として、北陸方面への販路を最先に開拓したと言われている。また、私の祖母に当たる人も商売気に富んでいた。しかし、母・志ようはそれに輪をかけた努力家で、名古屋の繊維問屋街でも早くから有名であった。当時、熱田から蒸気船に乗って横浜へ行き、毛糸を仕入れて来て売るなど、女性ながら八面六臂の大活躍をしていた。前田の基礎を作ったのは、正に母だった。

その前田へ私が入社した頃の主力商品は、角巻(肩掛け)だった。一方で、メリヤスの扱いも増えて来ていた。だが品質、見端の点で大阪の30番手使用の製品に比べると、遥かに劣る20番手製品しか扱えなかった。このため業界での評価も低く、商売的には大阪に従属的な立場をとらざるを得なかった。

私は何とかこの状況を打破したいと思い、専属工場と共に努力を重ね、やがて他産地と同レベル以上の製品を創出することが出来た。こうして前田は、名古屋地区における同商品のパイオニアとなった。

戦地への召集は、そうした努力の中でのことだった。

昭和21(1946)年3月、無事復員した私は、一面焼け野原となった名古屋の地に立った時、復興への意欲がふつふつと湧き上がってきた。あの時の胸の高ぶりは、まるで昨日の事であったかのように、今もしっかりと覚えている。直ちに商道に精進する決意を固め、日夜飛び歩いた。

戦後の前田は、統制会社として莫大小協会の業務代行店を営んでいた。社員14~15名を擁し、配給業務を行っているに過ぎなかったが、やがて統制が解除されると急速に発展する。昭和26(1951)年には社員50名を数え、同33(1958)年には念願の4階建て社屋を建設した。当時、名古屋の間屋街では、まだバラックに毛の生えた程度の建物が多かった。本格的なビルは丸兵に次いでのものとなった。

努力の過程での召集、苦難の軍隊生活、そして復員、一面の焼け野原……。振り返れば波乱の半生だった。完成したビルを仰ぎ見た時、「よくぞここまで復興した」と、胸にこみ上げてくるものを抑えがたい高揚感に包まれた。

その後、昭和30年代後半には東京銀座に東京支店を開設し、念願の東京進出を果たした。昭和41(1966)年には日本橋橋町に独立店を設置するに至り、京浜間にその地歩を固めた。

かくして昭和49(1974)年1月には、別個に株式会社前田を創設し、同じ年の8月に前田合名会社と合併して、名称を新時代にふさわしく株式会社サヴォイ前田に改めた。資本金1,000万円、年商20億円を計上する名古屋地区では代表的、且つ老舗を誇るニット卸商に成長させた。

一方、組合活動においては名古屋メリヤス卸商業組合の前身である中部メリヤス卸商業組合時代から当時の杉山理事長を補佐し、積極的に行動した。その結果、

組合への加盟者は増え、体制も整備されていった。名古屋商工会議所においても、メリヤス部会の存在は徐々に向上した。

この頃、繊維業界は化合織の進歩により、供給素材が飛躍的に増えていた。また編立、染色、縫製面で技術が進化するとともに、インナーウェアのデザイン、品質向上が要望されるようになってきていた。

他方、小売業界では百貨店、専門店の充実とともに量販店が台頭。消費の拡大に拍車が掛かり、業界は隆盛期を迎えた。

やがて私は組合理事長を拝命する。その活動のあり方が、旧来の役所主導の業務主体から脱皮し、独自のポリシーを模索する時代へと差し掛かりつつある転換期の就任だった。

就任後は、伊勢湾台風による特需もあったが、健康保険組合の設立問題（不発に終わったが）、大規模小売業対策（卸業存立の危機感）など、難題も山積した。

東西同業組合に対し、名古屋の存在感をアピールすることにも留意した。三都同等を主張する中で、当時大阪の組合理事長だった寺田八十二氏からは格別のバックアップをいただいた。

日本メリヤス中央卸商業組合連合会理事長を経験したことも、名古屋のニット卸商業界の地位向上の一助となったと自負している。私を支援していただいた当組合員各位へのせめてものご恩返しが出来たと心得ている。

また、この地域の工業組合（現在の東海ニット工業組合）との友好関係を深め、当時の大屋、宇城両代表と交流したことが「買う見本市」共催の実現となり、商工一体の実を上げることに繋がった。このことも在任期間中の印象に残る成果である。

今日、ニット卸商業界は多難な時代を迎えている。その変化の中にあって、しかしそれでも前に進んでいくならば、“何くそ”との気概でやってほしい。これが私が業界へ贈る提言である。

（本文は、前田源一郎さんご子息、前田直樹さんの執筆によるものです）

会社は幹、社員は枝

佐藤潔利

樹に例えるならば、会社は幹であり、社員は枝である。だから幹である会社は、絶えず枝である社員が太く逞しく伸び、きれいな花を咲かせ、豊かな実をなせるように健全な状態を保っていかなくてはならない。会社を太らせるのは社員である。逆に幹が枯れれば、枝も必然的に枯れる……。

これが私の経営信条であり、社員への訓示としてきたことであつた。このため私は、常に話し合い路線を提唱してきた。家族主義的な雰囲気の中で、社員と苦勞を共にしてきた。

私の仕事始めは、貿易関係からであつた。大正9（1920）年4月、京都市立四条商業学校を卒業すると、直ちに大阪の吉阪貿易に入った。同社は英国からの輸入とロシア、インドへの輸出を行っていたが、私が大正11（1922）年1月～12（1923）年末、兵役に服している間に廃業した。

このため大正14（1925）年4月、輸入雑貨専門卸の森本商工に入社、デパートを担当することになった。同社はメリヤスの舶来品を扱っていたが、ちょうどデパート取り引きが盛んになりかけた頃だった。私は大丸、松坂屋などの開拓を行った。当時は25歳の若輩者であつたが、大丸の部長に「メリヤス宣伝即売大会を開催しよう」と持ち掛けた。国産品ではアングルの肌着が代表的な高級品であつたことから、山発（現アングル・ミュキ）の山崎精専務に申し入れて、一流メーカー品ばかりを集めた。大会は予想以上の売れ行きで、特にアングルの裏毛肌着が好評を博し、私は一挙にセールスマンとして名を挙げることになった。

私は旧性を尾崎と言い、佐藤家本家の養子となった。佐藤商店は佐藤家の分家の伯父・讓吉氏が明治30（1897）年5月に創業した名古屋ニット卸商業界の代表的な老舗だった。私が入社したのは、昭和4（1929）年2月のことである。讓吉氏没後、合名会社に改組し、分家の甥に当たる杉山勇吉氏が代表社員となり、経営に当たっていた時だった。

杉山氏は、戦中から戦後の統制時代を中心に、中部メリヤス卸商業組合など、名古屋のニット卸商団体の理事長を務めた人物である。私の良き相談役でもあり、何かにつけて惜しむことなく協力をしていただいた恩人である。私は杉山氏を手伝う形で入社した。

私は合資会社佐藤商店を東西のニット卸商に伍した企業とするとともに、伍してこれを凌駕する優良品を取り扱えるようにしたいという夢を抱いた。その目標を達成するべく、日夜粉骨惜しまず仕事に励んだ。

入社するや、取り引きの切れていた松坂屋の口座を一年がかりで復活させたのを始め、伊勢方面と上州方面の小売店を積極的に開拓した。当時、佐藤商店の販路は小売店が主体だったが、京都丸物など百貨店も次第に増やしていった。

また、杉山氏は良い商品を扱うのが好きだったため、佐藤商店は必然的に高級品の販売を手掛けるようになっていった。私も昭和22(1947)年12月に代表社員に就任して以降、この路線を引き継いだ。「商品に魂を入れろ」という言葉が口癖になるほど、社員を督励するとともに、高級肌着生産の基点となっていた朝日メリヤスを軸に仕入れ販売を拡大した。

朝日メリヤスは、佐藤商店が大正10(1921)年、優秀品の生産を目的に設立した丸編生地メーカーである。佐藤商店が販売を一手に引き受けてきたが、私が引き継いでからも不断の研究努力と指導の宜しきを得、昭和26(1951)年7月と翌(1952)年12月に通産大臣賞、同26(1951)年9月に名古屋通産局長賞、25(1950)年12月と27(1952)年12月に愛知県知事賞を受賞するなど、求評展開催の度に最高賞を獲得してきたことから、優良品の代名詞にさえなった。

杉山氏が良い商品を作るのが好きだったところへ、朝日メリヤスの川出氏が商品に魂を入れ、その思いに応じて物作りしてくれた賜物であった。

こうした努力の甲斐あって、大阪のアングル商品に匹敵する物を作りたいという当初の構想は実現した。佐藤商店を東西のニット卸商に負けない企業力と商品力を持てるまでに成長させることが出来た。

(本文は、株式会社センイ・ジャーナル発行「歩み」より引用し、構成したものです)

人間愛

林康男

「私の信頼する素晴らしい青年である。林君のことは我が分身と思ってくれ。私はとことんアイリンと林社長を応援する」。

昭和45(1970)年7月、本社屋完成のセレモニーの席で、挨拶していただいた株式会社あかのれんの伊藤英明社長からこの上ない過分なお言葉を戴いた時、お客様とは本当に有り難いものだと思いの底から感じた。

高卒後、私は大阪の肌着卸商、上田株式会社に入社した。入社後は、朝早くから夜遅くまで働き、艱難辛苦に耐え、専門知識の習得に努めた。その努力の甲斐あって、多くの得意先様からご支持をいただいた。

10年経ち、名古屋営業所所長だった時、「自分で商売がしたい」との子供の頃からの夢を実現させるため、その信頼のもと独立した。昭和43(1968)年7月、29歳の時であった。裸一貫で個人創業し、自宅の庭にダンボールを敷き詰めることからスタートした。

昭和43年10月には、名古屋市北区元志賀町にアイリン株式会社を設立する。以後、昼夜を惜しんで働き、初年度年商1億円を計上した。2年後には現在の地(同区水草町)に本社屋を建てた。

私は堅実経営を基本とし、生涯を通じ、“人間愛”を大切に育んできた。社員を愛し、そしてお客様第一主義を貫いてきた。

また“企業は人なり”を信条とした。社員こそ当社の最も大切な財産である。社員一人一人の成長こそ、企業活動の基本だからだ。社員の成長なくして企業の成長はない。これが経営者としての私の実感であった。

愛される商品や優れた販売戦略を生み出すのは、一人一人の社員でしかあり得ないし、現実に業績を伸ばしていくのも社員である。私はそうしたマンパワーを信じ、社員が仕事を通じて人間性と能力を高め、愛される商品を広く社会に提供出来るように環境・体制作りに努めてきた。

そのため社員を信頼した。権限委譲のシステムを構築し、社員個々に大きな権限を持たせた。人間は任せられることによって、創造力と行動力が引き出され、才能を開花させ、成長出来るからである。これは私が上田での修業時代、自らの経験を通じ、学んだことだった。

変化の激しい時代、目まぐるしく移り変わるトレンドに素早く対応し、即断即決していくためには、一人一人が責任を持ち、権限を行使しなくてはお客様のニーズに応えることが出来ない。その上でお互いが連携して事に当たる。目的を共有して知恵を出し合い、大きな仕事を達成するべく努めていかなくては行けない。

しかしそのためには、一人一人が絶えず自らの価値を高めていかなくては行けない。人間力は商品力に勝る。売る人間が大したことなければ商品は良く見えない。人の力は大きい。私が伊藤社長を始め、多くの得意先様から支持していただけたのも、私なりの人間力だったと思っている。

社員も私の思いに応えてくれた。おかげで設立4年目の年、10億円の売り上げを達成出来た。

苦難の時代もあった。昭和49(1974)年前後のオイルショックの時には、当社も危機に直面した。それでもお客様第一主義を貫き通し、決して下を向かずに商売に励んだ。そうした中で、いつしか周囲は私のことを“前向きさん”と呼んで下さっていた。その後も必ずしも順風満帆とは行かず、紆余曲折があったが、誠意を持って取り組み、いくつもの荒波を乗り越えてきた。

“アイリンは人間企業”この考え方こそ当社が発展してきた土台である。「真実と信頼をもって人間性、合理性、近代性を追求し、業界のパイオニアとなる。また公開経営に徹し、利益は社員に還元する」。このことを基本理念とし、堅い信念を持って会社を築き上げてきた。

時代の変化にも果敢に対応してきた。1980年代に入り、ファッションが多様化し、多品種少量短サイクル型の体質が市場で要求され始めた頃、業界に先駆けて商品企画から生産、販売、物流までを一体化する独自のシステム作りに着手した。問屋機能だけでは限界があると感じ、早々と自社で物を作るメーカー機能を備え、商社的な企業へと転換していった。

さらに物流が「企業の生死を決める」とまで言われるようになってきた時、思い切って清須市西枇杷島に6000平方メートルの配送センターを完成(昭和63年

9月)させた。商物を一体化し、ジャストインタイムを基本とするお客様本位の新しい体制を構築した。

このほか、他業種メーカーとの業務提携、テキスタイルメーカーとの共同素材開発、海外生産へのいち早い進出などを通じ、多様化する消費者ニーズに応えてきた。

こうした試みの背景にあるのは、「未完成のものを完成させる」という常に挑戦する姿勢であった。完成された企業はない。どのような立派な企業であっても同じである。これがそのまま当社の発展のコンセプトとなった。

また、人とはとことん付き合い、語り合ってきた。社員とも共に手を取り合い、肩を叩き合って前進してきた。

会社設立20周年の節目の年、グアムへ社員旅行に行った時のことだった。社員一同から感謝状をいただいた。思いがけないプレゼントに人目をはばからず涙した。

私は社員、取引先の皆様に慕っていただいたおかげで、設立25年目には年商100億円の大台を突破することが出来た。肌着業界では日本で1、2を争う卸商にまで会社を成長させられた。

誠意を持って取り組み、必ず報われる。人の助けがあってこそ、今日がある。お客様に愛されて成長する企業、そして愛される林であり続けたい、だから社名は“アイリン”なのである。

(本文は、林康男さんのご子息、アイリン株式会社管理本部本部長アパレル事業部長兼大阪営業部担当役員取締役である林篤男さんからの取材に基づいたものです)

生涯素人

横山章一

35歳の頃だったと思う。京都妙心寺派の正眼寺管長、梶浦逸外師に「天気の良い日ばかりではない。雨の日の備えは出来ているのか!?!」と一喝され、目の覚める思いがした。得意絶頂にある時、人間は逆境を忘れがちとなる。若くして大きな利益を得た私は、逸外師から「肩で風を切っている」と見えたらしい。

「物を作るならば、日本一の物を作れ!日本一のセーター屋になれ!」とたたみ込む逸外師に、私は「なれない」と答えた。そうしたら「自分になろうとしない限りなれるものでない。まず自分になれる気になれ!」と押しまくられ、「あとは努力だ」と切り込まれた。

一週間、座禅を組んで経営に開眼したことは、「日本一を永久に求め続ければ、必ず調子を掴むことが出来る。窮して壁にぶつかる時こそ、その時だ。壁にぶつかる人生でなければ本物ではない。窮して窮することに耐え、努力すれば、必ず変化する。その時こそ道は通ずる」「窮して変ずることの繰り返しが日々是好日につながる」という道だった。

私の祖父は、岐阜県羽島郡笠松町の鳴居で代々続いた大庄屋で、株屋、機屋など、多方面にわたる経験を積んだ人だった。父は、大正15(1926)年4月に名古屋市中区に横山商店(後の横山株式会社、現在の株式会社リオ横山ホールディングス)を創設。時計貴金属店を営み、時代の変化を先取りし、店を繁盛させた。

その血統を受け継いだ私は青年時代、短歌や俳句に没頭した。“ほととぎす”や“馬酔木”などの一流句誌に応募し、入選もした。「ワビ・サビの世界」の十七文字を通じ、自然や人生をうたい上げるひらめきだけでなく、物事の奥の奥まで見つける力、美しいものを美しいと感じ取れる審美眼がその時、私の中に根付いていった。そしてそれが、ファッションビジネスの感性と無縁のものでない感受性となって、この胸の中に息づいた。

多感な青年期を過ごしてきた私を商人となるように駆り立てたのは、戦後復興に躍動する市民のエネルギッシュな生活力だったかもしれない。家業の時計貴金属店という土台があったことも一つの背景となった。

私は横山入社後、華やかで洒落た匂いのするライターの販売から始めた。常に新しいもの、新しい感覚のもの、消費者が欲しがっているもの、そうしたものを扱うことがグッド・ビジネスになると信じて、ズブの素人が乗り出した商売だった。

当時、ライターという舶来の匂いのするものも、大半はキセル屋などで販売していた。しかし私は洋品店、タバコ店、袋物店などに卸し、商品のイメージにマッチした売り場で販売した。さらに、新製品を開発して次々と市場の開拓も進めた。その甲斐あって、商売を始めて5年目で「ライターなら横山」と言われるほど、名古屋では一流の間屋になった。

ところが、ある時期からぱったりと売れなくなった。原因追求をしたところ、市民生活が豊かになり始めるとともに、喫茶店が大流行し、ここでサービスされるマッチがライターの売れ行きを止めてしまっていたことがわかった。

そこで街に出て、今何が売れているかを調べたところ、皮手袋が良く売れていることがわかった。たちまち最高級品の皮手袋の販売に鞍替えし、続いて皮ベルトを扱うなど、一大転身をした。但し、最高級品を販売することを鉄則としたため、仕入れ面では一通りの苦労では済まなかった。

このような機敏な対応と不断の努力を重ねたことで、3~4年後には再び横山をその筋では名古屋で一番の企業にのし上げた。

私は、“生涯素人”を座右の銘としている。教えを請うのは常に消費者であることを忘れない。行き詰れば街に出る。街には必ず新しい経営資源があるからだ。学問も大切だ。近代経営学の勉強で50%、そして消費者から学ぶことが50%。学術と実践の両立こそが肝要である。

ニットへの参入も消費者ニーズを追跡した所産であった。

本格的に参入したのは、昭和40(1965)年前後の年からであったが、以後ファッション産業としての基盤を確立し、リオ・チェーンなどのレディース専門店チェーンの展開や細分化された消費者ニーズへのマルチブランド戦略、郊外型大規模ショッピングセンターの先駆けとなった真正リオワールドショッピングセンタ

一の出店など、常に精力的に事業を推進し、成果を収めてこられたのも“生涯素人”の理念に支えられたからだったと思っている。

現在の社名である株式会社リオ横山ホールディングスの“リオ”(RIO)は、「リファインド・インテリジェンス・オーガニゼーション=洗練された知識集団」に由来している。座禅を通じて開眼した「窮すれば変じ、変ずれば通ず」の道は、未来志向の道である。一ヶ所にとどまることなく、絶えず変化への対応が求められる。そのためにも常に自らが洗練された思考を備えていなくてはならない。企業も然りである。そうした思考を持った人達の集合体であるべきと私は思っている。業績の変動は好不況ではなく、時代が求めているものを扱っているかどうかで決まる。常に変化する消費者ニーズへの対応に徹しなければならない。

今、日本はあらゆる分野で注目されている。アパレル産業も地球的視野に立つて真面目に謙虚に、しかもファッションの幅を広げていけば、世界のリーダーとして、いつか認められる日が来るだろう。

(本文は、株式会社センイ・ジャーナル発行「我が道」「歩み」より引用し、構成したものです)

日々改善

山口兼市

入社して12年が経ち、38歳となった昭和55(1980)年、大いなる決心をした。創業40周年を迎えたこの年、創業者である父、当時の山口兵一社長に「私も経験を積んできたので営業の責任者を任せてほしい」と談判した。この年、周年記念の大売り出しを行うとともに、船井幸雄先生ら日本を代表する講師4人を招いたセミナー、水着のファッションショー、お客様の買い上げ額に応じた国内・海外(ハワイ、香港、ヨーロッパ)旅行への招待などの催しを実施した。

セミナーの後、先生方に「この先、さらに商売に力を入れていくためには、何をすべきか」と尋ねたところ、皆共通に「同じことをしているだけでは駄目だ。改善改革を継続して常に前向きに取り組むべき」と仰られた。この言葉は私にとって大きなヒントとなり、新しいことへ踏み切っていこうとの思いを確信させてくれた。

これまで創業者や先輩が取り組んできたことを今度は自分が責任を持ち、行動に出た。自分でやってみてみると、仕事をこなす中で受けるインパクトがまるで違っていた。しかしその経験は、私にとって大きな自信となった。

自ら思い描いていたことを実行してきた結果、その年の売り上げは前年の48億円から54億円(前年比12.5%増)へ拡大した。この時が八木兵株式会社の2代目として、私がスタートした本格的な時期だった。

また、商売の仕組みや取引形態など、様々な改革にも着手してきた。

その最大のテーマが顧客対応だった。それまで慣例となっていたお客様を名古屋駅まで送迎すること、お客様のところへ集金に出向くことを徐々に取り止めていった。

名古屋長者町は呉服問屋の勢いが強かったため、送迎サービスが常識的になっていた。しかし大阪では、お客様は皆自分で移動していた。商品の代金も店頭で回収していた。当時八木兵では、集金に行くと「今日は社長がいない、翌日は葬

式・・・」などの理由付けで、代金を回収するまで3日掛かることもあった。こうしたロスを排斥し、名古屋流のビジネスの仕組みを変えていかなければ、規模で負ける名古屋の卸商は、東京や大阪の卸商に勝てないと確信したからだった。

さらに仕入先との結び付きを深めるとともに、販売スケールの拡大を求め、良品を廉価で提供するセット売りを取り入れた。ケース単位で販売出来たため手間も省けた。

昭和 53 (1978) 年からは取引形態を現金に切り替えた。しかし現金のみでは、いろいろと問題点もあったので、熟慮した結果、カードで販売し、代金を回収するシステムを導入した。この切り替えは大きな決断であり、社内でも反対が多かった。東海銀行グループのセントラルファクターと契約し、お客様に保証を付けた上でカードを発行し、その保証枠金額の範囲内で売買をするとともに、代金回収業務を代行してもらう。カード枠を超えた分は、その場で現金で支払っていただくというものである。当時、この手法は名古屋では当社のみであり、全国的に見ても1~2社程度が取り入れていたに過ぎない革新的なものだった。こうして集金システムは格段に改善した。

一方、支払いも月1回(現在は2回)の現金決済とした。

昭和 50 年代後半からは、東京でのセットセールが始まった。2回目のセール開催時、千葉の小売店が1回で1500万円も買って下さった。これが自信となり、その後さらに東京でのセットセールに力を注いでいった。

その後、大阪でも始めたが、こちらは2年間成果が出なかった。しかし辛抱強く取り組んできた結果、3年目に入ってようやく知名度が上がり、4年目には一気にこれまでの4倍のスケールで売れた。

お客様の開拓にも力を注いだ。社員には「足で稼げ」と指導し、北海道から沖縄まで2週間単位で出張させた。各都道府県へ進出することは創業者・山口兵一氏の思いでもあった。この結果、1万2000件のダイレクトメールリストが作成出来た。

こうした努力の積み重ねのもと、私が入社当時、20億円だった年商は、社長に就任した平成2(1990)年から10年を経た同12~13(2000~2001)年に530億円まで拡大し、経常利益は23億円を計上するに至った。その後、景気の悪化や競争激化などで苦しんだ時期があったが、3年前から業績が安定してきた。

また、2年前から経営方針が明確になってきた。売れない時代にどうするか・・・このことは各社共通の悩みである。今のような時代、売れるものは情報によって見通せるようになってきている。このため、いかに早く売れる商品の情報をキャッチするかに注力し、それを中心に売ることに徹するという路線へ方向転換した。お客様に対して、「今年の売れ筋と流行はこれです」と情報をベースとした説得力のある提案型ビジネスに切り替えていった。

だがこれは、半年から1年前に見極め、商品化する準備をしていかないと間に合わない。そのためには、情報のネットワークを構築することが大切である。実際、小売店でも「よく売れる」と好評をいただいている。

こうした積み重ねのもと、全国においてその地方を代表する小売店との取り引きが増加した。有り難いことに、お客様の中には当社の商品がなければ、品揃えと売り上げが成り立たないと仰って下さる小売店さんも少なくない。販路も一般小売店・洋品店以外に専門店チェーンや量販店、最近ではホームセンターやドラッグストア、インターネット店と幅が広がっている。

時代の変化の中で、あるべき方向性を決めるのが社長の務めである。今までの成功例が打ち消されると、企業経営というのは苦しいものである。当社は、良品廉価のセットセールが成功例となっていた。しかしここ1~2年、その方向性が見通せるようになってきたため、経営の建て直しを着実に進んでいる。したがって、社員にも時代の流れを読む力がついてきた。

また昭和30年代から、社内ではモラロジー(道徳科学)による人間教育に励んできた。創業者である法学博士・廣池千九郎氏の思想に共感した兵一前社長が社員教育の根底としたためである。

企業も社員も社会に貢献すべきである。日々改善を徹底し、社員には夢を持ってもらい、お客様には喜んでいただき、そうして社会に貢献する。そのような心掛けのもと、これからも世の中に貢献出来る企業として進化し続けていきたい。

(本文は、山口兼市さんご自身の懐述に基づき、構成しました)

組合 50 年の足跡

前田源一郎氏(名古屋メリヤス卸商業組合理事長)は、二月十一日愛知文化講堂における、東海メリヤス工組の優良従業員表彰式の席上「名古屋メリヤスのきょうとあすの在り方」と題し、次のように演説を行なった。

名古屋のメリヤスは東京、大阪のメリヤスとはかく東京、大阪と並んで、日本の三大生産地といわれていたが、いまはそのようにいえない現状である。ご覧のように戦後、新潟県、福島県、山梨県、石川県とぞこぞく勃興しておりある種の生産

この事業をやらなければ誰がやるか、とくに推進力となる中堅従業員の方にはご理解願いたいと思う。どうか一にも品質、二にも品質の改善に向け、日本中のメリヤスのよいものは名古屋へ買いこいというところまで

わたくしは今日までバカのひとつ覚えのように品質の向上を唱えてきた。その効果が現在上がっているが、しかしすべての点において満足かといえは、否と答えるければならない。すなわち縫製技術、整理、仕上がりにも品質の改善は日夜そのP Rにつとめている。われわれの業はたしかに弱い



なおいては残念ながら名古屋は

|| 共感よぶ前田理事長の演説 ||

名古屋の発展は品質向上あるのみ

通かに引き放されている現状である。

だけに語りすぎなかなか手きびしい批判を加えるのが通例ではあるが、福岡の業者のなかには名古屋は東・西の追従である。

おいでまたまた一歩、二歩をゆるめる商品が多い。しかしこのままの状況で推移すると、せっかく皆さんが努力しているにもかかわらず、われわれ名古屋業界

考えにタイプアップして、よりの解願って、部下を引張ってやってほしい。そうした努力がある限り、業界は発展もし、またあなたたちの人格も輝きを増すものと考える次第である。

私どもが全国を回って、各地の状況を分析してみると、名古屋

失敬千言な話だ。

しかしそれには、われわれとし訴える次第である。われわれが

辺の工業飛躍はすばらしい。その心棒となっていたきたい。

に企業主とともにその推進力となるあなたの努力に期待、業界

組合員の利益のため、意欲的に活動

昭和 37 (1962) 年 1 月 19 日、愛知県中小企業センターで開かれた創立総会の模様を伝えたメリヤス週報同月 25 日付の記事によると、総会は午後 1 時 30 分に開始、組合員数は 238 社、出席者数 74、委任状 164 で成立し、岩田嘉七氏の司会で進められたとある。この席で、創立に関する経過報告をメリヤス卸商側代表の前田源一郎氏、靴下卸商側代表の徳永寛一氏がそれぞれ説明している。

初代理事長には、発起人総代である前田源一郎氏が選出された。就任の第一声で前田理事長は、「中小企業団体系に基づく卸商業組合の運営に当たり、組合員全部の利益に向かって全力を挙げて進みたい。それには組合員の協力、鞭撻はもとより、温かい支援のもとに邁進したい」との抱負を語っている。

明けて 38 (1963) 年に行われた新年名詞交換会の席上で、前田理事長は「240 人を超す大組合になった」(メリヤス週報昭和 38 年 1 月 7 日付記事) と挨拶している。日本の高度経済成長とともに、組合員数も増加傾向を辿り、順調な船出をしたことが窺える。

その後、前田理事長の組合設立時の挨拶を具現化するかのようになり、精力的な活動が続けられた。名古屋の卸商業組合独自で、あるいは三都組合と足並みを揃え、様々な取り組みが進められた。特に昭和 50 年代頃までは、顕著な活動が繰り返されてきた。

昭和 39 (1964) 年から同 55 (1980) 年までは名古屋総合見本市協会、名古屋市、名古屋商工会議所などが主催、名古屋通商産業局、愛知県らが後援した名古屋の繊維服飾ファッション見本市に定期的に参加している。

展示会は、全国三大繊維集散地でありながら、東京、大阪の 2 大ファッション産地に挟まれ押されがちだった名古屋が、そのハンディキャップを克服し、名古屋メードの優れた商品を広く全国の卸商、小売業者に紹介することで、商圏の拡大と既存販売ルート強化を図ることを目的に開催されたものだった。また、ちょうどこの頃から編機の発達により、これまで肌着の扱いが主流だった当地区メリヤス卸商もセーターや T シャツ、パジャマといったファッション衣料分野への進出が盛んになっていた。このため、イベントに組合として参加することは、組合員企業が新商品をアピール出来る格好の場となった。

昭和 41 (1966) 年 4 月には、取引の正常化、業界の安定化を図るため、前年 8

月に設立された日本メリヤス商工振興協議会の中中部支部の立ち上げに参加している。東海メリヤス工業組合、愛知県横編メリヤス工業組合、愛知県靴下工業組合、関西経編メリヤス工業組合とともに、日本メリヤス商工振興協議会中中部支部を結成。地域的なグループによる商工業者の連携協力を狙いとしたもので、前田源一郎理事長が代表委員に就任。事務局は 5 団体の持ちまわりとなったが、さしあたり名古屋メリヤス卸商業組合に置かれた。地区としての取引の正常化、生産の合理化など、独自の解決策を協議する一方、全国的な問題を検討していった。

その翌年 9 月には、名古屋市内 4 百貨店の肌着担当者を招いて、子供肌着のサイズ表示の改正について申し入れをしている。これは、その前年から品質表示法の改訂に伴うサイズ統一問題が起きたことに基づいたものだった。

センイ・ジヤナル昭和 42 (1967) 年 9 月 21 日付記事には、この時組合側は従来の身丈の年齢別表示を廃止し、センチメートル表示を求めたとある。これに対し、名鉄百貨店は全面的に賛同する。しかし丸栄、オリエンタル中村、松坂屋は基本的に賛同するものの、早急な切り替えは従来の慣行上、多少の混乱が予測されるため、難色を示すと回答している。

このため、とりあえず年齢別表示とセンチメートル表示の 2 本立てとし、実施時期を昭和 43 (1968) 年春からとすることで意見が一致する。これを受け、組合は傘下組合員に同年春から 2 本立て表示をするように指示することを決めた。

一方で、センチメートル表示が J I S 規格に編入されるように、全国的な改正運動へと広めるため、日本メリヤス卸商連に結果を報告するとともに、改正方を依頼した。

昭和 46 (1971) 年 6 月 7 日からは、組合の前売り部会委員有志により、ナゴヤニット・セルフ会(山口兵一会長)が活動を開始する。原則として、毎月初めの月・火曜日を定例



ナゴヤニット・セルフ会観劇ご招待でタカラジェンヌ
と記念撮影 (昭和 63 年)

に連合大売り出しを開催。売り出しのほか、年初めに顧客を観劇に招待するなど、充実した活動を繰り返していった。

昭和 48 (1973) 年には組合の名称を変更する。5 月 18 日に行われた通常総会 (名古屋中小企業福祉会館) において、名古屋ニット卸商業組合へ改めることが決議された。

この呼称変更は、三都の卸商業組合と日本メリヤス中央卸商業組合連合会挙げての取り組みとなった。連合会が同年 4 月 1 日から名称を「日本ニット中央卸商業組合連合会」に改称したのを受けて、三都の組合も新年度通常総会で正式に変更を決議した。

変更の背景には、この頃既に業界内ではニットの呼称が一般化し、メリヤスの呼称が一部肌着のみの用語としてしか理解されない状況にあったためであった。また「メリヤス」がスペイン語、ポルトガル語がなまった外来語で、日本国内でしか通じず、国際化時代に通用した言葉でなかったことも挙げられた。さらに言葉の持つイメージが前近代的であり、業界の間で数年前から「ニット」への転換を図る機運があったからである。

なお呼称に関しては、三都の組合の中で名古屋が最も斬新さを打ち出し、その後もイメージ戦略を続けてきた。

平成 2 (1990) 年 12 月には、組合の愛称を「MEI・KNIT」に決定。翌 3 (1991) 年 1 月 1 日から使用を始めている。これは、一般呼称として親しみやすさとわかりやすさを備え、しかもオリジナル性の高い愛称を制定したいとの思いから誕生したものだった。組合員企業各社から公募し、寄せられた案の中から当時八木兵株式会社総務部長だった片桐勝利氏が考案したものが選出されている。MEI は名古屋の“名”、KNIT は“ニット”を現すもので、同組合の正式呼称を大幅に短くし、しかも他組織との混同がないように工夫されている点が決定の大きな理由となった。

さらに同じ年の 5 月 10 日に行われた第 30 回通常総会の席では、新たな時代への対応を目指し、組合名称を「名古屋ニットファッション卸商業組合」に変更する。横山章一理事長は、「流通問題の改善策やニットのファッション化の推進と関連づけた指導教育事業徹底策の一環」(センイ・ジヤナル平成 3 年 5 月 13 日付記事) として改称を定義。実際、ニットはこの頃以降、ファッション化が一段と

進み、今ではファッションを形作るキーアイテムになるまで、存在感を高めるに至っている。また昭和 40 年代に入り、目覚ましい成長を遂げる近隣途上国



第 2 次台湾繊維市場訪問団 (昭和 61 年 9 月 19~22 日)

からの繊維製品輸入が増大し始めていたが、業界内ではこれら途上国の繊維製品生産業を日本の加工基地、商品供給基地と見做す傾向が次第に強まっていた。こうした現象を組合としても受け、昭和 60 年代以降、海外市場調査団の派遣を行ってきた。昭和 60 (1985) 年度と 61 (1986) 年度には台湾、平成 7 (1995) 年度にはインドネシア、同 15 (2003) 年度には中国大連の繊維産業を視察している。

これらの特筆すべき活動のほかにも、各種セミナーや講演会、工場見学を中心とした外部研修会、パソコン研修などの開催や案内を通じて、組合員企業の経営や事業推進、人材教育、商品企画、物作り、品質向上などに寄与する内容に満ち



工場見学会での陶芸体験 (昭和 54 年 10 月 13 日、岐阜県土岐市久尻深沢溪谷の度山陶芸道場)

た聴講や実体験の場を提供してきた。あるいは東京、大阪のニット卸商業組合、連合会と連携した実態調査の実施、「ベターリビングショウ」(昭和 41=1966 年) や「海を渡るギフト展・中部日本輸出見本市」(同 52=1977 年) など名古屋繊維見本市以外の展示会への参加、



ボウリング大会 (昭和60年2月16日)

その他様々な形で組合員の利益に有する活動を行ってきた。

このほか、野球やボウリング、ゴルフなどの大会、誕生日会といった催しを定期的に行

うことで組合員企業の経営者、そこで働く従業員同士の交流、親睦を図ってきた。

さらには、組合員企業の従業員福祉共済制度の一環となるグループ保険共済制度や永年勤続従業員表彰、還暦組合員への記念品贈呈など、保険・福祉事業にも力を注いできた。

経営者 2 世達も積極的に交流

こうした活動の一方で、組合員企業の経営者 2 世達による独自の活動も進められてきた。

昭和 39 (1964) 年には、株式会社センイ・ジヤナルの星野龍美氏を发起人に、YAG (YOUNG AGEの略称) が設立される。当時、2 世同士の横の繋がりが無い中で、若い世代はこれから先、自分達は何をするべきかを意見交換し、勉強する場を求めている。そうした声を星野氏が汲み取り、自らが世話役となり、グループとして誕生する。設立後は定期的集い、工場見学や親睦会の場を意欲的に設けてきた。グループの活動が活発になるにつれ、メンバーも増え、次世代の企業経営に必要な知識の吸収と情報交換も盛んになっていった。

また昭和 46 (1971) 年 8 月 6～9 日には、親組合に先駆けて、韓国視察ツアーを実施し、目覚ましい成長を遂げる同国の繊維産業の実態を視察している。

この頃、YAGを通してメンバー達が体験したこと、学んだ様々な内容は彼らにとって大きな財産となり、経営の第一線に立った時、大いに役立った。活動は、

今でも当時のメンバーを中心に、脈々と続けられている。

その後、昭和 54 (1979) 年 6 月 11 日には、改めて各組合員企業の次代を担う社長候補、若手幹部を集めて、名古屋ニットファッション卸商業組合青年部会が結成される。入会資格を 40 歳以下と規定し、21 名が立ち上げに参加した。前途多難な繊維業界にあって、将来を担う新世代の人材が柔軟な思考と健全な批判精神、若い行動力を持つことが重要との見地から新設されたものだった。初代会長には、シバニ株式会社社長の柴田昌弘氏が就任。定期的に勉強会や研修の場を催し、そうした精神や実力を養ってきた。

また近年では、現在の組合員企業の経営者 2 世を中心とした若手幹部の会「ニット双葉塾 (現在は双葉会)」が平成 18 (2006) 年に結成されている。現在は、名古屋長者町繊維問屋街恒例のイベント・ぬびす祭への組合出展の際の運営、勉強会、海外視察などの活動を行っている。

次世代への継承、次の 100 年へ

しかしながらその間、繊維業界は厳しい時代を迎えることにもなった。特に 1980 年代に入ってから隘路に追い込まれていく。この頃から顕著になってきた発展途上国の急迫と我が国市場への製品輸入ラッシュ、プラザ合意 (昭和 60=1985 年) による国際通貨調整といった一連の世界的な環境要因の変化、高度経済成長によってもたらされた労働力の逼迫と賃金上昇、それに伴う消費傾向の高級化、多様化、そしてその後訪れたバブル景気の終焉、今日まで続く日本経済の長期低迷、デフレ経済の浸透といったマイナス要因に悩まされることになる。

ニット卸業界においても廃業や倒産が増え、厳しい時代下に置かれることとなった。

だが、東西の大型消費地の谷間にあるという一見不利なロケーションにありながら、商品戦略、販売戦略の面で確たる原料背景を持ち、国内外の生産基盤と結び付いたコスト対応力、フォロー力に定評を持つ個性的な企業が多く存在してきたのが、名古屋地区のニット卸業界である。各時代の理事長がリーダーシップを発揮し、流通機構の中で卸商のポジショニングを明確にするとともにイニシアチブをとることで、名古屋地区のニット卸商の存在価値を高め、時代の流れに即応

出来るように、様々な取り組みや努力を重ねてきた。

今日、消費者志向と流通チャネルは多様化するとともに多岐にわたっている。また、製販におけるグローバル化も一段と加速している。その移り変わりも目まぐるしい。こうした世の中の動きに迅速に対応するためには、一企業としての情報収集や商品力のアップ、新販路の開拓などはもちろんのこと、様々な企業や人との情報交換や連携、業界上げての活性化策の推進がますます求められてこよう。

平成不況が続く今日、この難局を乗り越え、未来へ向けて羽ばたいていくために求められる企業の枠を超えた相互交流と団結、活動の核として、名古屋ニットファッション卸商業組合がその求心力を高め、役割を担っていくことが望まれる。

現在、名古屋ニットファッション卸商業組合はニット（生地、または製品）の卸売業を営む中小企業者の改善発達と、その経営の安定化・合理化を図ることを目的に、中小企業団体組織法に基づき、通商産業大臣の設立認可を受けた愛知県



カラーセミナー（平成21年9月29日）

下で唯一の商業組合として存在している。

その活動内容は、ニット卸売業に関する指導・教育・情報や資料の収集・提供・調査・研究などの事業となっている。カラー&ファッションセミナーやパソコン研修開催のほか、団体

名表示（組合登録番号）制度

＝繊維製品品質表示の表示者名の代行業務、国内生産物賠償責任保険（団体PL保険）、並びに災害保障特約付き団体定期保険（グループ保険）の取り扱い、繊維問屋街の売り出しへの協賛、官公庁・業界諸団体からの資料や研修会開催などの案内の配布、親睦会・賀詞交歓会・交流イベントに取り組んでいる。

平成23（2011）年、設立から50年を迎えた名古屋ニットファッション卸商業組合。次世代に名古屋のニット卸商の伝統が継承されていく中で、さらに次の100年へ向けて、組合員の英知が結集され、そのもとで新たなる方向性が見出され、試みられることで、大いに飛躍していくことが期待される。

歴代理事長の紹介

初代理事長



前田 源一郎

【昭和37（1962）年3月16日～昭和52（1977）年5月18日】

（15年2ヶ月）

明治38（1905）年8月20日生まれ。

前田合名会社（後の株式会社サヴォイ前田）を名古屋ニット卸業界を代表する老舗企業に成長させた傍ら、昭和30（1955）年5月から中部メリヤス卸商業組合理事長を務めてきた前田氏は、同32（1957）年に中小企業団体組織法が公布されると率先して発起人代表となり、当組合設立に尽力する。初代理事長に就任し、15年2ヶ月の長きにわたり、名古屋のニット卸業界を牽引してきた。

また、昭和46（1971）年5月30日～昭和52（1977）年5月29日の期間、日本メリヤス中央卸商業組合連合会2代目理事長、同29（1954）年11月以降、名古屋商工会議所メリヤス部会長（46年3月にニット部会に改称）を務めたほか、数々の要職もこなしてきた。昭和52年にほとんどの公職から退くまで、東西の谷間と言われた名古屋のニット卸商を東京、大阪と同等の立場に引き上げるべく、昂然とした気概を持って業界を指導。卓抜した識見と理路整然とした説法を展開し、地位の高揚に努めた。その成果は大きく、名古屋ニット卸業界興隆の祖といえよう。

前田氏の功績は枚挙にいとまがない。こうした足跡が認められ、昭和42（1967）年3月に藍綬褒章、同50（1975）年11月に勲四等瑞宝章を授与される。また平成4（1992）年1月24日の死去（享年87歳）の際には、正八位が贈位された。

2代目理事長



佐藤 潔利

【昭和52（1977）年5月19日～昭和53（1978）年5月10日】

（1年）

明治35（1902）年11月1日生まれ。

昭和37（1962）年の組合設立当初から副理事長として、その活動に従事してきた佐藤氏は、名古屋のニット卸業界の地位を東西に匹敵するものにしたいとの思いから、様々な努力を重ねてきた。寺田八十二氏が日本メリヤス卸商業組合連合会の理事長を辞する際、その後任に名古屋の前田源一郎氏を持ってきたのは佐藤氏の運動によるところが大きかった。

また、「デカ」の実施案がメリヤス卸商連の会議で俎上に上がった時、寺田理事長の即刻実施の意向に対し、「これはかなりの改革である。十分の準備期間を置いて実施すべき」と主張し、徹底して反対。後日、大阪から組合幹部の人達が名古屋を訪れ、実施期間の遅れた中部地区の調整が行われるといった経緯にまで発展する。常に話し合いを大切にするとともに、信念を曲げない人であった。

合資会社佐藤商店の社長であった佐藤氏は、「商品に魂を入れろ」を口癖にしていた。その人となりは情熱家であるとともに、気さくで人懐っこく、時代の先を見据えた先取的・革新的発想の持ち主であったことから人望が厚かった。

昭和43年（1968）年3月には名古屋ニット卸業界に対する長年の功績が認められ黄綬褒章を、そして同51（1976）年11月には勲五等瑞宝章を授与される。

昭和52（1977）年5月からは、前田氏が健康上の理由により、任期を1年残して理事長職を辞任したことから、その後を継ぐ。しかしながら自らも不幸病を得て、翌年の役員改選時にその職を辞した。

3代目理事長



岩田 嘉七

【昭和53（1978）年5月11日～昭和57（1982）年5月9日】

（4年）

明治42（1909）年6月29日生まれ

昭和25（1950）年5月、株式会社岩田商店（後の株式会社岩田）を設立し、社長に就任した岩田氏は、極めて謙虚で温厚な人柄の持ち主であった。誠実で決して他人に強制しない、それでいて自分の信念は固く守る、自分には厳しいが他人には優しい人だった。

彼が戒めとしていた「相場、ギャンブルには手を出すな、他人に金を借りるな、他人に迷惑を掛けるな、生き物は飼うな」は母・しげさんの言葉でもあり、彼を通じ、息子達にも言い伝えられ、岩田家の家訓にもなった。

また「一生懸命やれば何とかなる」という考え方の持ち主であった岩田氏は、ニット業界の中でも人望が厚く、東西の人脈交流にも持って来いの近代的なセンスを備えていた。

こうした中、昭和48（1973）年10月、64歳の時に、業界における多年の功績が認められ、藍綬褒章を受章している。また名古屋市長からも産業功労賞を受賞している。

昭和53（1978）年からは、佐藤潔利氏の後を受けて理事長に就任する。同57（1982）年5月までの4年間、その職を全うし、次代を担う人材の育成を目的とした青年部会の設立など、名古屋のニット卸業界の発展に寄与した。

4代目理事長



横山 章一

【昭和57（1982）年5月10日～平成10（1998）年5月14日】

（16年）

大正13（1924）年1月24日生まれ

現在、株式会社リオ横山ホールディングスの名誉会長である横山氏は、「商人としての本分に徹し、社会生活の改善と向上を図り、日本文化の進展に寄与すること」「社会において真に必要とされる物資を豊富に生産し、供給することで社会の繁栄、発展に役立つこと」を経営理念に抱く。変化への対応を信条とし、その卓越した経営手腕と先見性で、自社をファッションアパレルへと進化・発展させていった。

そのセンスは組合理事長時代にも大いに活かされ、「MEI・KNIT」といった洒落た愛称の制定（平成2年）や三都のニット卸組合の中で唯一、ネーミングに“ファッション”を組み入れた改称（同3年）をするといったように業界イメージの向上に努めた。

また、昭和62（1987）年5月30日～平成5（1993）年5月29日には日本ニット中央卸商業組合連合会5代目理事長も兼ね、その手腕を全国に振るった。

横山氏は「生きた経営、それに加えて社会性のある企業」を目指していたこともあり、昭和52（1977）年には財団法人横山育英財団を設立している。以後、苦学生の教育にも心血を注ぐ。こうした横山氏の功績は、様々なところで認められており、昭和57（1982）年4月愛知県知事賞、同9月通産大臣賞、昭和62（1987）年秋藍綬褒章、平成7（1995）年春勲四等瑞宝章をいずれも日本ボランティアチェーン協会を通じて受賞している。

5代目理事長



森 恒夫

【平成10（1998）年5月15日～平成14（2002）年5月14日】

（4年）

昭和13（1938）年3月30日生まれ

モリリン株式会社専務取締役だった森氏は、昭和57（1982）年に組合理事に選任された後、常務理事を経て、平成6（1994）年に副理事長、そして同10（1998）年から理事長に就任する。

昭和36（1961）年にモリリンに入社後、同社の支柱として意欲的に業務に励む傍ら、組合活動にも積極的に参加。組合事業の活性化に尽力することで、名古屋のニット卸業界の健全な発展に寄与してきた。

平成14（2002）年までの4年間にわたる理事長時代には、組合員同士の相互交流と情報交換を通じ、良い雰囲気作りに励み、各組合員企業が日常のビジネスで、多くのメリットを享受出来るように努めた。

また、平成13（2001）年5月30日～平成14（2002）年5月29日の1年間、日本ニット中央卸商業組合連合会8代目理事長も務め、業界を牽引した。

平成14（2002）年にモリリンの顧問に就任し、第一線から退いたのを機に、名古屋と中央の理事長職からも退任する。

穏やかで紳士的な性格の持ち主ゆえに、業界の中でもその人柄を慕う人が少なくなかった。また、オーディオと謡曲（観世流）を趣味とする感性豊かな芸術家肌の雅な風流人でもある。

6代目理事長



山口 兼市

【平成14（2002）年5月15日～現在】

昭和17（1942）年10月20日生まれ

平成2（1990）年4月に八木兵株式会社の社長に就任した山口氏は、同社を全国屈指の現金卸商へ急成長させた傍ら、副理事長時代から組合加盟企業増強運動に力を注ぎ、実効を上げてきた。

理事長就任後もカラーセミナーの開催、名古屋長者町のあびす祭りへの参加など組合活動を活発化させ、数々の功績を上げている。

山口氏は、情報の交換・共有を大切に、組合活動を通じ、組合員各自が絶えず新しい刺激を受けられるようにコミュニケーションを重視している。

また現在、長者町織物協同組合理事長、錦2丁目まちづくりカンパニー社長、錦2丁目まちづくり連絡協議会会長といった要職にも就いており、名古屋のニット卸業界のみならず、当地域繊維業界においても極めて大きな存在感を持っている。特に昨年、長者町がメイン会場の一つになった国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」（8月21日～10月31日）の成功は、山口氏の尽力によるところが大きかった。

さらに、平成14（2002）年5月31日～平成17（2005）年5月30日の期間、日本ニット中央卸商業組合連合会9代目理事長、そして同21（2009）年5月30日から現在に至るまで同11代目理事長を務めており、名古屋だけでなく、全国のニット卸業界も牽引し続けている。

組合創立 20 周年記念式典

昭和 57 (1972) 年 4 月 2 日 (名古屋国際ホテル)



役員一同記念撮影

上段左から有限会社フジノ商会加藤社長、株式会社寺澤寺澤社長、名古屋ニット卸商業組合三崎志郎、シバニ株式会社柴田社長、八木文株式会社高橋社長、株式会社日進衣料牧ヶ野社長、

下段同中野株式会社中野社長、マシタ繊維株式会社間下社長、株式会社リオ横山横山社長、株式会社岩田岩田社長 (組合理事長)、熊澤衣料株式会社熊澤社長、株式会社マルト長谷川長谷川社長、株式会社三島水谷社長、瀧定株式会社宮田部長 (いずれも当時の肩書き)

50年史

組合と一般社会・名古屋・繊維の歩み

一般社会・名古屋・繊維

昭和37(1962)年

2月1日
東京都世界最初の1000万人都市に

2月9日
国際繊維会議で綿製品の国際貿易に関する長期取り決めに調印

5月4日
家庭用品品質表示法を公布

11月3日
名古屋市科学館が開館

11月9日
日中総合貿易覚書に調印、L.T貿易開始

テレビ受信契約数1000万台突破、普及率50%に、全国放送開始

サリドマイド児問題悪化

ツイスト・バカンスルック流行

プロレス視聴者ショック死続出

求人難で青田刈りが問題に

流通革命論、問屋無用論が業界を賑わす

シャーベットトーンが人気

アンサンブル、オリエンタルルック人気

昭和38(1963)年

1月23日
北陸地方を中心に裏日本で豪雪、各地で最深積雪記録を更新、死者228名、住宅の全半壊1700棟以上の被害

8月27日
政府、日米綿製品取り決めにワシントンで調印

11月22日
ケネディ大統領暗殺される

12月1日
日本メリヤス中央卸商業組合連合会発足

12月8日
力道山刺される、15日に死去

名古屋ニットファッション卸商業組合

昭和37(1962)年

1月19日
名古屋メリヤス卸商業組合創立総会を愛知県中小企業センターにて開催。発起人総代である前田源一郎氏が初代理事長に就任、組合員数238社でスタート

昭和37(1962)年度

5月25日
名古屋商工会議所にて、中部メリヤス卸商組合が第12回通常(最終総会)を開催。名称は残すものの、実質的諸活動を名古屋メリヤス卸商業組合へ移す。終了後、名古屋メリヤス卸商業組合第1回(昭和37年度)通常総会を開催

昭和38(1963)年

1月8日
新年名刺交換会(愛知県中小企業センター)
還暦者5名に記念品を贈呈
表彰:愛知県知事賞(永年勤続)6名

昭和38(1963)年度

5月20日
第2回(昭和38年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
総会に先立ち、繊維製品品質表示者番号承認書の授与式を行う

8月2日
第1回目の各部会委員長、副委員長の合同会議(興銀ビルヂング)

*これまで理事会中心に動いていたものを専門的に幅の広い組織で行うことを目的に部会を設立

各部会は以下の通り

第一部会(メリヤス)、第二部会(靴下・手袋)、百貨店分科委員会、地方卸分科委員会、前売分科委員会、運営委員会、金融委員会、税務委員会、厚生委員会

昭和39(1964)年

1月8日
新年名刺交換会(愛知県中小企業センター)
還暦者8名に記念品を贈呈
表彰:愛知県知事賞(25年以上永年勤続優良従業員)

12名
愛知県知事賞(20年以上永年勤続団体職員)2名

12月9日

第3次池田勇人内閣成立

日ソ貿易協定調印

草加次郎事件(9月5日の東京地下鉄爆破、吉永小百合宅への脅迫状ほか)

ボウリングブーム

肌着にVネックが多くなる

洋服のTPO(時間・場所・目的)の設定広まる

ビジネスウェアなど、ユニフォーム運動活発

プレタポルテ流行

フルーツカラーをモードに取り入れる

昭和39(1964)年

4月1日
日本がIMF8条国に移行

4月28日
日本がOECDに正式加盟

6月
シャープが世界で初めて商用化電卓を発売、価格は53万5000円

6月16日
繊維工業設備等臨時措置法施行

9月5日
名神高速道路が開通

10月1日
東海道新幹線が開通

10月10~24日
東京オリンピック開催

11月9日
佐藤栄作内閣成立

みゆき族出現

レンタカー登場

アイビールック、VAN、JUNの流行

ニットウェアでノースリーブ流行

ワッペン、カラーシャツブーム

昭和39(1964)年度

5月16日
第3回(昭和39年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
総会后、名鉄百貨店主任デザイナー小林叔子氏による「パリモードと服飾について」の講演とスライドを観賞

第1回親善野球大会 鳴河が優勝
トーナメント決勝:5月10日(森林公園グラウンド)
鳴河12-1ワキタ

経営者2世の勉強会、YAG(ヤングエージ)結成

昭和40(1965)年

1月8日
新年名刺交換会(愛知県中小企業センター)
還暦者7名へ記念品贈呈

2月17~18日
「第1回春の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(愛知県県体育館、愛知県産業貿易館)に出展

昭和 40 (1965) 年

- 3月
 - 繊維業界、中小企業の倒産激増
- 6月 22日
 - 日韓基本条約などに調印
- 8月 3日
 - 日本メリヤス商工振興協議会が発足
- 10月 15日
 - 名古屋地市営地下鉄 2 号線 (名城線)、栄町駅～市役所駅開通
- 10月 21日
 - 朝永振一郎博士ノーベル物理学賞受賞
- 11月
 - いざなぎ景気始まる
- 11月 21日
 - 名古屋にケンタッキーフライドチキン日本国内 1 号店開店

- ベトナム戦争激化
- トップレス水着登場
- ミニスカートの登場でパンティストッキング、柄ストッキングも流行
- エレキブーム、モンキーダンス流行
- アパレルメーカー台頭
- メンズでカラーシャツ流行
- スケスケルック人気、ノーブラ旋風
- サファリコート、レイヤードファッション人気
- デザイナーズブランド全盛

昭和 41 (1966) 年

- 1月
 - 戦後初の国債発行
- 2月 3日
 - ソ連の月ロケットルナー 9 号が史上初の月面着陸に成功
- 2月 4日
 - 全日空機が東京湾に墜落 133 名死亡、
- 3月 4日
 - カナダ太平洋航空機が羽田で炎上 64 名死亡

昭和 40 (1965) 年度

- 5月 22日
 - 第 4 回 (昭和 40 年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)
- 9月 8～9日
 - 「第 2 回秋の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(愛知県体育館、愛知県産業貿易館) に出展

昭和 41 (1966) 年

- 1月 7日
 - 新年賀詞交換会 (愛知県中小企業センター)
 - 還暦者 8 名に記念品を贈呈



- 2月 23～24日
 - 「第 3 回春の名古屋繊維・服飾総合卸見本市」(愛知県体育館、愛知県産業貿易館) に出展

昭和 41 (1966) 年度

- 4月
 - 日本メリヤス商工振興協議会中部支部の結成に参加
 - 前田源一郎理事長が代表委員に就任
- 5月 19日
 - 第 5 回 (昭和 41 年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)
- 5月 20日～6月 10日
 - 東海メリヤス工業組合と共同で「ベターリビングショウ」(中日ビル完成に伴い開催) に出品
- 9月 1～2日
 - 「第 4 回秋の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」に出展
- 9月
 - 第 2 回親善野球大会 滝兵が優勝
 - トーナメント決勝 (場所不明)
 - 滝兵 13-0 あいぎ商事

昭和 42 (1967) 年

- 1月 7日
 - 新年賀詞交換会 (名古屋中小企業福祉会館)
 - 還暦者 9 名に記念品を贈呈
- 2月 16～17日
 - 「第 5 回春の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(愛知県体育館、愛知県産業貿易館) に出展

昭和 42 (1967) 年度

- 3月
 - 前田源一郎理事長に藍綬褒章が授与される
- 5月 25日
 - 第 6 回 (昭和 42 年度) 通常総会 (名古屋中小企業福祉会館)
 - 永年勤続優良従業員 355 名の表彰式を行う
 - 愛知県知事賞 (勤続 25 年以上) 3 名
 - 名古屋市長賞 (勤続 20 年以上) 4 名
 - 名古屋商工会議所会頭賞 (勤続 15 年以上) 132 名
 - 名古屋メリヤス卸商業組合理事長賞 (勤続 10 年以上) 216 名
- 第 3 回親善野球大会 長谷川商店が優勝
- トーナメント決勝: 6月 4日 (法音寺学園グラウンド)
- 長谷川商店 5-3 岩田 (延長 10 回)
- 9月
 - 名古屋市内 4 百貨店の肌着担当者を招き、子供肌着のサイズ表示改正について申し入れる

9月6～7日

「第6回秋の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(吹上ホール)に出展

昭和43(1968)年

2月20日

金嬉老事件、寸又峡温泉旅館に籠城、
24日に逮捕・解決

4月12日

日本最初の超高層ビル、霞が関ビル竣工

4月25日

東名高速道路が開通

5月16日

十勝沖地震(M7.9)、死者行方不明52名

6月26日

小笠原諸島、日本に復帰

7月1日

全国郵便番号制実施

8月

繊維ビジョン「染色・メリヤス業の構造改善」策定

12月2日

品質表示法改正に伴い、繊維製品の絵表示がJIS(日本工業規格)として制定される

12月10日

東京・府中で現金輸送車の3億円が奪われる

12月10日

川端康成ノーベル文化賞受賞

国民総生産(GNP)世界2位に

ミニ、タートルネック、パンタロンスーツなど流行

メンズのタートルネック、カジュアルルックが本格化

男の長髪、ヒッピーファッション流行
シンナー遊び激増

熊本、新潟の水俣病を公害病に認定

昭和43(1968)年

1月8日

新年賀詞交換会(名古屋中小企業福祉会館)

還暦者3名に記念品を贈呈

2月7～8日

「第7回春の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(愛知県体育館、愛知産業貿易館)に出展

3月

佐藤潔利副理事長に黄綬褒章が授与される

昭和43(1968)年度

5月18日

第7回(昭和43年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)

9月5～6日

「第8回秋の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(吹上ホール)に出展

昭和44(1969)年

1月8日

新年賀詞交換会(名古屋中小企業福祉会館)

中小企業庁長官賞を受けた有限会社フジノ商会社長の加藤章氏と還暦迎えた12名に記念品を贈呈

2月6～7日

「第9回春の名古屋繊維・服飾品総合卸見本市」(愛知県体育館、愛知産業貿易館)に出展

昭和44(1969)年

1月18～19日

東大安田講堂事件起こる、学園紛争激化

2月3日

名古屋市の人口200万人を突破

5月26日

東名高速道路が全通

7月21日

米国の宇宙船アポロ11号、人類初の月面着陸に成功

8月12日

北海道東方沖地震(M7.8)

11月4日

日本初の本格的SC、玉川高島屋誕生

キャッシュカード登場

国道22号線・名岐バイパス開通

米国繊維製品の輸入規制打ち出す

メリヤス製品の絵表示組み合わせ制定

シースルー룩、レイヤード룩流行

ミニスカートブームでパンティストッキングが急増

ユニセックスファッションの台頭

昭和45(1970)年

1月14日

第3次佐藤栄作内閣成立

1月19日

日本繊維産業連盟創設、日本輸出ニット工業会も同連盟に参加

3月14日～9月13日

日本万国博覧会EXPO70開催

3月31日

赤軍派学生、日航機よど号をハイジャック

4月8日

大阪北区天六地下鉄工事現場でガス爆発

昭和44(1969)年度

5月

第4回親善野球大会 岩田が優勝

トーナメント決勝:小牧市のリオ球場

岩田14-3前田貞治商店

5月16日

第8回(昭和44年度)通常総会(愛知県中小企業センター)

8月6～9日

YAGが韓国研修旅行

釜山とソウルで
繊維業界を見学

10月4～5日

「第10回秋の名古屋繊維服飾品総合卸見本市」(吹上ホール)に出展

昭和45(1970)年

1月8日

新年賀詞交換会(名古屋中小企業福祉会館)

2月18～19日

「第11回名古屋繊維服飾ファッション展」(愛知県体育館)に出展

7月
57ヶ月続いたいざなぎ景気が終わる
8月2日
銀座や新宿で日曜・祝日に歩行者天国を実施
11月25日
三島由紀夫、東京・市ヶ谷の陸上自衛隊で害腹自殺

SLブーム
カップラーメン登場
日米繊維交渉開始
フィーリングファッション、都市化ファッションなど女性ファッションがますます多様化
ジーンズ、Tシャツブーム
ノーブラ旋風
ファッションビジネスが流行語化

昭和45 (1970) 年度

5月21日
第9回(昭和45年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)
9月9~10日
「第12回名古屋繊維服飾ファッション展」(愛知県体育館)に出展

昭和46 (1971) 年

1月7日
新年賀詞交換会(名古屋中小企業福祉会館)
井村与三郎氏ら5名の還暦組合員に記念品を贈呈
2月17~18日
「第13回名古屋繊維服飾ファッション展」(愛知県体育館)に出展

昭和46 (1971) 年度

5月18日
第10回(昭和46年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)
6月7~8日
組合の前売り部会委員有志によるナゴヤニット・セルフ会(山口兵一会長)が「連合大売り出し」を手始めに活動を開始する
9月8~9日
「第14回名古屋繊維服飾ファッション展」(愛知県体育館)に出展

昭和47 (1972) 年

1月8日
新年賀詞交換会(名古屋中小企業福祉会館)
還暦組合員に記念品を贈呈

昭和46 (1971) 年

7月1日
日本繊維産業連盟、対米繊維輸出自主規制を実施、メリヤス(靴下除く)も出荷数量調整規制を制定
7月5日
第3次佐藤改造内閣発足
8月15日
ニクソン大統領、金とドル紙幣の交換を一時的に停止するなどのドル防衛措置を発表(ドル・ショック)
8月28日
大蔵省、1ドル=360円の固定相場制を変動相場制へ
10月25日
国連総会、中国の国連復帰を決定

大久保清事件
カラーテレビ受信契約数100万台突破
女子ボウラー人気
脱サラブーム
メリヤスの統一サイズ決定
ビキニ水着登場

昭和47 (1972) 年度

5月18日
第11回(昭和47年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)と組合創立10周年記念式典
前田源一郎理事長ら6名を組合功労者として表彰
永年年勤続者20年以上93名、15年以上115名、10年以上170名を表彰



さらに団結を強める
10周年の名古屋メリヤス卸商組
(名古屋)名古屋メリヤス卸商組(会長)の六氏を表彰した。各業組合(前田源一郎理事長は十八日、名古屋中小企業福祉会館で通常総会と併行して十周年記念式典を開いた。記念式典では組合功労者として前田源一郎(前田源社)、佐藤利(前田源社)、山口義光(モリソン社)、山田孝二(山橋社)、若田七(若田社)、山田重太郎(山田重太郎社)が表彰された。

新役員、委員はつぎのとおり。
▽理事長 前田源一郎(前田源社)
▽副理事長 山田孝二(山田重太郎社)
▽常務理事 加藤隆(中島製靴)
▽事務理事 井村与三郎(井村与三郎社)
▽監事 伊藤三郎(伊藤三郎社)
▽顧問 山口義光(モリソン社)
▽顧問 山田孝二(山田重太郎社)
▽顧問 若田七(若田社)
▽顧問 山田重太郎(山田重太郎社)

愛知県生地工組
新理事長に小島氏
(名古屋)愛知県メリヤス生地工業組合は十七日、名古屋大小会館で四十六年度通常総会を開いた。同総会には百十七人(委任状を含む)の参加があり、四十六年度事業報告、四十七年度事業計画の承認、四十七年度収支算上及び賦課金の額、手数料並びに賦課徴収方法の決定、定款の一部改正などの議案について議決が行われた。

ミニからパンタロンへ、ホットパンツ流行
アメカジ全盛、ジーンズ爆発的売れ行き
シャツブラウス全盛、ワイドタイ流行

昭和47 (1972) 年
1月3日
日米繊維協定正式調印
1月24日
グアム島で元日本兵・横井庄一伍長発見

2月3~13日
札幌冬季オリンピック開催
2月19日
連合赤軍、浅間山荘に籠城

3月15日
山陽新幹線(大阪~岡山間)開通
3月26日
高松塚古墳発見
5月15日
沖縄が日本に復帰、沖縄県発足

5月30日
日本赤軍、テルアビブ空港で乱射事件
6月11日
田中通産相「日本列島改造計画論」発表

7月7日
田中角栄内閣成立
9月
ミュンヘンオリンピック、アラブゲリラに襲撃される

9月29日
田中首相が中国訪問、日中共同声明に調印、国交樹立
10月5日
国道23号・名四国道全面開通

10月28日
ジャイアントパンダ「カンカン」「ランラン」上野動物園に到着、空前のパンダブーム起きる

12月22日

第2次田中角栄内閣成立

日本ウールニット協会設立
 パンタロン全盛、サファリ・アーミール
 ック流行
 靴下のワンポイントカジュアル台頭

9月6～7日

「第15回名古屋繊維服飾ファッション展」(愛知県体育館)に出展



10月19日

杉戸清名古屋市長より中小企業の模範であるとして、表彰される
 昭和48(1973)年

1月8日

新年賀詞交換会(名古屋中小企業福祉会館)

昭和48(1973)年度

5月18日

第12回(昭和48年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)
 名称を名古屋ニット卸商業組合に変更

7月27～28日

「第16回名古屋繊維服飾ファッション展」(愛知県体育館)に出展

10月

岩田嘉七副理事長に藍綬褒章が授与される

昭和48(1973)年

2月14日

大蔵省、円を変動相場制に移行、1ドル
 =246円に

4月1日

日本ニット中央卸商業組合連合会に
 改称

4月28日

本山政雄名古屋市長誕生

8月8日

金大中氏誘拐事件

10月6日

第4次中東戦争勃発

10月17日

ペルシャ湾岸6ヶ国、石油価格の引き
 上げを宣言(オイルショック)

10月23日

江崎玲於奈博士ノーベル物理学賞受
 賞

11月6日

大都市で広告ネオンを消灯

11月14日

関門橋開通

物不足パニック、トイレトペーパー・
 洗剤買いだめ騒動、卸売物価・消費者物
 価急騰

ハイセイコー人気

コインロッカー捨て子事件多発

合繊メーカー8社、メンズニットキャン
 ペーンを実施

スーツの既製服化50%超える

小笠原諸島西之島沖で海底火山が噴火、
 新島誕生

昭和49(1974)年

2月

狂乱物価となる

2月20日

太平洋戦争残留の小野田寛郎少尉、ル
 バング島で発見される

3月

大型店の出店規制を柱とした大規模小
 売店法施行

3月31日

名古屋市電全廃

5月9日

伊豆半島地震(M6.8)、死者9名、行
 方不明20名

5月15日

日本のコンビニ第1号店、セブンイレ
 ブン東京豊洲店開店

8月30日

東京丸の内の三菱重工ビルで時限爆
 弾が爆発、通行人数名死亡

10月8日

佐藤栄作元首相ノーベル平和賞受賞

10月12日

中日ドラゴンズ2度目のセリーグ優
 勝

12月9日

三木武夫内閣成立

昭和49(1974)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)



昭和49(1974)年度

5月18日

第13回(昭和49年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)

10月2日

桑原幹根愛知県知事より「第23回中小企業団体愛知県大会」開催
 にあたり、中小企業の発展に寄与した功績を表彰される

昭和50(1975)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

2月13日

講演会(名古屋中小企業福祉会館)

テーマ:「不況下の日本経済と賃金・物価・景気の見通し」

講師:経済評論家 竹村忠雄氏

2月19日

講演会及び映写会(名古屋中小企業福祉会館)

講演テーマ:「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律

戦後初のマイナス成長
繊維業界戦後最大の不況
ユリ・ゲラー来日、超能力ブーム
フォークロア・エスニックファッション
台頭

昭和50(1975)年

4月30日
南ベトナム・サイゴン陥落、30年にわたるベトナム戦争終結
5月7日～12日
エリザベス女王来日
7月1日
日本ニット工業組合連合会設立
7月20日～翌年1月18日
沖縄海洋博覧会開催
12月10日
三億円事件時効

国道41号・名濃バイパス開通
シーズンレス(オールシーズン)衣料の傾向現れる
カタログ出版が話題に
暴走族、ストリーキング出現
第2次ベビーブーム
ベルばらブーム
靴下では両口K式柄開発によるスパイラル全盛、メッシュソックス流行

昭和51(1976)年

1月23日
政府、昭和51年度予算案に戦後初めて赤字国債を組み込む

について」

講師：通産省名古屋繊維製品検査所所長 三口文芳氏
他所員2名

映写

日本ニット中央卸商業組合連合会製作「ニットへの招待」上映

誕生日会(組合会議室)

5月1日(4, 5月誕生者)、7月1日(6, 7月以下省略)、9月2日(8, 9月)、11月1日(10, 11月)、12月2日(12月)、1月11日(1月)、3月1日(2, 3月)

昭和50(1975)年度

昭和50(1975)年

5月21日
第14回(昭和50年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)
総会後、説明会
テーマ：「繊維工業構造改善事業について」
講師：愛知県商工部繊維雑貨課の担当官

9月10日

説明会(愛知県産業貿易館)
テーマ：「ホルマリン規制 特に移染について」
講師：縫製品検査協会・広瀬試験課長・外

10月7日

説明会(愛知県産業貿易館)
テーマ：「移染対策について」
講師：通産省 宮原技官、メリヤス検査協会 島津亨氏

11月3日

前田源一郎理事長に勲四等瑞宝章が授与される

昭和51(1976)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

2月24日

講演会(名古屋商工会議所)
テーマ：「経済の見通し」
講師：野村証券株式部長 畑野満夫氏

第1回ボウリング大会

誕生日会(組合会議室)

5月1日(4, 5月)、7月1日(6, 7月)、9月3日(8, 9月)、11月1日(10, 11月)、12月1日(12月)、1月14日(1

月)、3月1日(2, 3月)

昭和51(1976)年度

4月22日

説明会(愛知県中小企業センター)
テーマ：「絵表示に関する記号及び表示方法について」
講師：通産省名古屋繊維検査所所長 三口文芳氏

5月18日

第15回(昭和51年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)

6月4日

講演会(愛知県中小企業センター)
テーマ：「これからの賃金のあり方について」
講師：橋本経営研究所所長 橋本義継氏

6月26日

第2回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

6月26日

説明会(名古屋中小企業福祉会館)
テーマ：「ニット製品の絵表示の組み合わせについて」
講師：日本メリヤス検査協会 島津亨氏

9月17日

講演会(愛知県中小企業センター)
テーマ：「内外経済の現状と今後の中小企業経営」
講師：名古屋市立大学教授 松永嘉夫氏

10月3日、10日

「テニス教室」(長久手グリーンテニスクラブ)

11月3日

佐藤潔利副理事長に勲五等瑞宝章が授与される

11月24～25日

講演会(桜華会館)
24日 テーマ：「消費支出停滞打開のための販売促進対策」
講師：明治大学教授 刀根武晴氏
25日 テーマ：「増大する人件費対策・賃金、賞与、運転金の決め方」
講師：橋本経営研究所所長 橋本義継氏

昭和52(1977)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

7月27日

田中角栄元首相、受託収賄と外国為替・外国貿易管理法違反の疑いで逮捕される(ロッキード事件)

9月6日

ソ連のヴィクトル・ベレンコ空軍中尉、戦闘機ミグ25で函館着陸、亡命求める

11月10日

天皇在位50年式典

12月24日

福田赳夫内閣成立

戦後生まれが総人口の半数を突破

米国建国200年祭

キャリアウーマン台頭

宇宙戦艦ヤマト人気でSFブーム

モントリオールオリンピックで妖精コマネチ人気

宅配便スタート

トレーニングウェア流行、ジョギングブーム

レッグウォーマー登場

昭和52(1977)年

1月4日

東京・高輪で青酸コーラ殺人事件

2月16日

対米繊維輸出枠全廃で日米合意、完全自由化に

3月18日
名古屋市営地下鉄3号線(鶴舞線)、伏見駅～八事駅開通

3月29日
日本200カイリ宣言

8月7日
北海道有珠山32年振りに爆発

9月3日
巨人の王貞治選手、対ヤクルト戦でホームラン世界記録756号を達成、国民栄誉賞を受賞

9月28日
日本赤軍が日航ハイジャック、ボンベイ～バンコック間で乗っ取り、ダッカ空港に強制着陸

円高のあおりを受け、戦後最大の不況、大型倒産相次ぐ
カラオケ、スーパーカーブーム
中流意識のニューファミリーが増える
平均寿命が男72.69歳、女77.95歳で世界一となる
50年代ファッションが流行(ポニーテール、ギャザースカートなど)
子供靴下急進、シマシマブーム

昭和53(1978)年

1月14日
伊豆半島沖地震(M7.0)、死者25名

2月16日
名古屋市がメキシコ市と姉妹都市提携

5月20日
成田・新東京国際空港開港

6月12日
宮城県沖地震(M7.5)、仙台市を中心に被害、死者28名

7月25日
英国で試験管ベビー誕生

8月12日
日中平和友好条約調印

誕生日会(組合会議室)
5月1日(4, 5月)、7月1日(6, 7月)、9月1日(8, 9月)、11月5日(10, 11月)、12月1日(12月)、1月14日(1月)、3月2日(2, 3月)

昭和52(1977)年度

5月
「中国展」(名古屋港埠頭)を見学

5月18日
第16回(昭和52年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)
佐藤潔利氏が理事長に就任

7月7～8日
「名古屋繊維服飾ファッション展」(吹上ホール)に出展

9月17～19日
「海を渡るギフト展・中部日本輸出見本市」(愛知県産業貿易館)に出展

11月5日
第3回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

12月2日
講演会(名古屋商工会議所)
テーマ:「これからの賃金体形について」
講師:橋本経営研究所 橋本義継氏

12月9日
講演会(名古屋商工会議所)
テーマ:「現代ヤングの真理と行動」
講師:名古屋大学文学部長 内山道明氏

昭和53(1978)年

1月11日
新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

2月17日
説明会(ナオリ会館)
テーマ:「繊維製品品質表示説明会」
講師:縫製品検査協会 広瀬淳氏

3月9日
講演会(愛知県中小企業センター)
テーマ:「契約締結から債権回収までの法律知識」
講師:弁護士 山田靖典氏

3月16～17日
講演会(名古屋商工会議所)
16日 テーマ:「不況下における企業経営」
講師:パロマ工業株式会社社長 小林進一氏

12月7日
大平正芳内閣成立

12月21日
名古屋市が中国南京市と友好都市提携

日米繊維協定一年延長
ピンクレディ旋風
原宿に竹の子族出現
タンクトップ流行
キャリアウーマンのファッションとしてニューヨークファッション花盛り
ディスコファーバー
ナンチャッテおじさん出沒
コレラ騒動、少女買春、サラ金地獄

テーマ「ベースアップと労務管理」
講師:橋本経営研究所 橋本義継氏

17日 テーマ「産業界の展望」
講師:野村総合研究所 村瀬光正氏
テーマ「経営改善のすすめ方と事例」
講師:愛知学院大学 山本菊夫氏

誕生日会(組合会議室)

5月2日(4, 5月)、7月1日(6, 7, 8月)、9月1日(9, 10月)、12月1日(11, 12月)、1月14日(1月)、2月4日(2, 3月)

昭和53(1978)年度

5月11日
第17回(昭和53年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
岩田嘉七氏が理事長に就任

7月6～7日
「名古屋繊維服飾ファッション展」(吹上ホール)に出展

9月19～21日
「のびる中部の生活用品展」(愛知県産業貿易館)に出展

10月28日
第4回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

11月18日
工場見学会及び懇親会
見学先:東賀茂郡小原村「山内一生工房」
美術工芸品としての小原和紙すき工房
懇親会:紅葉地の足助香嵐溪

11月25日
愛知県ニット業界組合との懇談会(名古屋ニット卸商業組合)
議題:取引改善(歩引)に関する件
参加者:東海メリヤス工業組合 3名
愛知県横編ニット工業組合 4名
名古屋ニット卸商業組合 7名

昭和54(1979)年

1月8日
新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

2月23日
講習会(名織商組合)
テーマ:「ウールの染色について」(伊藤和夫氏)

3月16日
講習会(名織商組合)

昭和54(1979)年

1月14日
日米繊維協定改革交渉決着

1月26日
三菱銀行乗銃人質事件

5月15日
本四国連絡橋第一号となる尾道～今治ルートの大三島橋開通

6月28～29日
東京サミット開催

7月1日
ソニーが「ウォークマン」発売

7月11日
東名日本坂トンネル事故

7月25日
名古屋高速道路開通

10月11日
日本輸出ニット工業会閉鎖

10月28日
木曾御岳山が有史以来初の噴火

10月26日
韓国の朴正熙大統領暗殺される

11月19日
第2次大平正芳内閣成立

第2次オイルショック
インベーダーゲーム流行
口裂け女出没伝説
ニット外衣輸入年間1億枚突破
テニスウェアのタウン化でポロシャツ流行
カラー・柄・サポートパンティストッキング登場
省エネスーツが話題(ただし売れず)
タンクトップがミセスに浸透、ストラップレスブラジャーが売れる
機能性を特徴としたニューヨークファッション過熱
ハマトラファッションが若い女性の間
アイビーファッション復活

テーマ：「化合織の染色について」(古川元彦氏)

3月27日
講習会(愛知県中小企業センター)
テーマ：「年金のあれこれ」(升倉重美氏)

誕生日会(組合会議室)
4月1日(4, 5月)、6月1日(6, 7月)、7月1日(7, 8月)、9月1日(8, 9月)、10月2日(9, 10月)、12月1日(11, 12月)、1月13日(1, 2月)、2月1日(2, 3月)、3月1日(3, 4月)

昭和54(1979)年度

4月20日
講習会(名織商組合)
テーマ：「毛製品の染色堅牢度について」
講師：中日本繊維工業協同組合 森益一氏

5月17日
第18回(昭和54年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)

6月11日
青年部会結成、設立総会を東区の郵便貯金会館で開く

6月20～21日
「名古屋繊維服飾ファッション展」(吹上ホール)に出展

7月3日
講習会(愛知県中小企業センター)
テーマ：「既製衣料品サイズ説明会」
講師：財団法人日本メリヤス検査協会 島津享氏

9月19～21日
「販路をひらく すぐれた商品展」(愛知県産業貿易館)に出展

9月20日
講習会(名織商組合)
テーマ：「縫製に関する消費者苦情の現状と問題点」
講師：二葉ファッションエンジニアリング株式会社
佐々木誠司氏

10月13日
工場見学会及び懇親会
見学先：土岐市久尻深沢溪谷「虔山陶芸道場」
懇親会：関市小瀬 篝火荘

11月10日
第5回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

11月16日
伊藤杉三郎常務理事に勲五等瑞宝章が授与される

11月26日
講習会(愛知県中小企業センター)
テーマ：「衣料品の品質表示要領説明会」
講師：通商産業省名古屋繊維検査所 山蔵明夫氏 所村利男氏

11月29日、12月5日
百貨店委員会が公正取引委員会と懇談会(組合会議室)

昭和55(1980)年
1月8日
新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

1月22日
講習会(名古屋商工会議所)
テーマ：「既製衣料品JISサイズ説明会」
講師：財団法人日本メリヤス検査協会 島津享氏

誕生日会(組合会議室)
4月2日(4, 5, 6月)、5月1日(5, 6, 7月)、6月2日(6, 7, 8月)、7月2日(7, 8, 9月)、9月1日(8, 9, 10月)、10月1日(9, 10, 11月)、11月1日(10, 11, 12月)、12月1日(11, 12月)、1月12日(1, 2月)、2月1日(1, 2, 3月)、3月1日(3, 4, 5月)

協賛事業

国際児童年「世界と日本のこども展」のチャリティバザーにニット製品を出品

昭和55(1980)年度

5月9日
第19回(昭和55年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)

6月18～19日
「名古屋繊維服飾ファッション展」(吹上ホール)に出展

11月1日
組合員の従業員福祉共済制度の一環として、グループ保険共済制度(災害保障特約付団体定期保険)発足

11月8日
第6回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

11月14日
工場見学会及び懇親会
見学先：足助川面溪谷と岐阜県岩村城址
懇親会：岩村町 水半

昭和55(1980)年
5月27日
富士通、日本語電子タイプライター(ワープロ)発売

5月25日
政府がソ連のアフガニスタン侵攻に抗議し、モスクワオリンピックのボイコットを決定

7月17日
鈴木善幸内閣成立

9月16日
名古屋市が豪州シドニー市と姉妹都市提携

自動車生産 1000 万台突破、米国抜き世界一に

イエスの方舟事件

漫オブーム、ルービックキューブ人気

日米繊維交渉妥結

日本ニット中央卸商業組合連合会が取引伝票の統一化推進、「80年代のニット産業の在り方」策定

ダイエーが2月期決算で小売業として初めて年商1兆円を達成

若い女性にモノトーンカラー広がる

前ボタンスカートが人気、トレーナー、ダウンジャケット人気

昭和56(1981)年

3月20日～9月15日

神戸ポートピア博覧会開催

4月21日

NASAがスペースシャトルの打ち上げに成功

7月20日

東京・名古屋・大阪の三都市間で電子郵送(ファクシミリ電送)開始

7月29日

英国チャールズ皇太子・ダイアナ妃結婚

10月16日

北海道夕張炭鉱ガス突出事故

12月

福井謙一博士ノーベル化学賞受賞

校内暴力、家庭内暴力激化

量販店にPB商品登場

ブランド志向・高級志向のクリスタル族登場

レッグウォーマー男女問わずヤングに人気、1日に200足販売する店も

ガードルでもショーツでもないシェイプパンツが大ヒット、ヤングだけでなくミセス、男性にも

サマーセーター復活傾向、カットソーが秋冬物でも売れる

昭和56(1981)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

2月16日

講習会(場所不明)

テーマ:「繊維取引近代化について」

講師:アパレル産業システム化対策委員 江尻弘氏

誕生日会(組合会議室)

4月1日(4, 5, 6月)、5月1日(5, 6, 7月)、6月2日(6, 7, 8月)、7月2日(7, 8, 9月)、9月1日(8, 9, 10月)、10月2日(9, 10, 11月)、11月1日(10, 11, 12月)、12月2日(11, 12月)、1月20日(1, 2月)、2月7日(1, 2, 3月)、3月3日(3, 4, 5月)

昭和56(1981)年度

4月初め

組合の母体であった中部メリヤス卸商組合が解散

4月20日

講習会(場所不明)

テーマ:「婦人服のサイズピッチのゆるみについて」

講師:株式会社七彩工芸 三浦司氏

5月11日

第20回(昭和56年度)通常総会(愛知県中小企業センター)

10月24日

第7回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

11月27日

工場見学会及び懇親会

見学先:岐阜市 菊井酒造工場、尾関提灯工場

懇親会:岐阜市 すぎ山

昭和57(1982)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋中小企業福祉会館)

誕生日会(組合会議室)

4月1日(3, 4, 5月)、5月2日(4, 5, 6月)、6月1日(5, 6, 7月)、7月9日(6, 7, 8月)、9月1日(7, 8, 9月)、10月1日(9, 10, 11月)、11月4日(10, 11, 12月)、12月3日(11, 12月)、1月20日(1, 2月)、2月2日(1, 2, 3月)、3月2日(2, 3, 4月)

マリノルック秋冬まで継続し流行

昭和57(1982)年

2月8日

東京千代田区のホテルニュージャパ
ンで火災発生

2月9日

日航機羽田沖に墜落

4月1日

500円硬貨発行

4月8日

日本アパレル産業協会設立

6月22日

I BMスパイ事件

6月23日

東北新幹線開業(大宮～盛岡間)

7月23日

長崎で集中豪雨、死者295名

8月29日

三越で偽秘宝展、岡田社長解任(9月
22日)

10月18日

中日ドラゴンズ3度目のセリーグ優
勝

11月15日

上越新幹線開通(大宮～新潟間)

11月27日

中曽根康弘内閣成立

プロレスブーム、ジャズダンス、エアロ
ビクス人気

日本ニット中央卸商業組合連合会が統一
仕入れ伝票の「様式」「手引書」作成
DCブランド人気

ソフトタイプのワンピース浮上、黒タイ
ツが復活

夏にTシャツの重ね着がヤングに流行
ルーズソックス出回る

昭和57(1982)年度

4月2日

組合創立20周年記念式典と組合員企業の優良従業員表彰式(名古屋国際ホテル)

被表彰者:愛知県知事組合功労者表彰 8名

愛知県知事優良従業員表彰 91名

名古屋市長優良従業員表彰 85名

組合顧問特別功労者表彰 33名

理事長優良従業員表彰 75名

合計

292名

5月10日

第21回(昭和57年度)通常総会(名古屋中小企業福祉会館)
横山章一氏が理事長に就任

6月28日

コットン・ファッション・セミナー(愛知県産業貿易館)

テーマ:「83年SSコットン・ファブリックとファッションの
動向」

講師: I I C国際綿花振興会 セシル・ピーターズ女史

10月23日

第8回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

11月9日

工場見学会及び懇親会

見学先:石川県 ユーザック電子工業株式会社

懇親会:金沢市 唐沢

昭和58(1983)年

1月8日

新年賀詞交歓会(名古屋都ホテル)

1月29日

コットン・ファッション・セミナー(センタービル)

テーマ:「83～84年ウインター・コットンとファッションの動
向」

講師:日本綿業協会 柳原美紗子女史

昭和58(1983)年

- 4月15日
東京ディズニーランド開園
- 5月26日
日本海中部地震(秋田沖、M7.7)、大津波が発性し、遠足の学童が多数犠牲に、死者104名
- 6月13日
戸塚ヨットスクール事件で戸塚宏校長を逮捕
- 6月26日
参議院選挙で初めて比例代表制導入、自民党が安定多数を確保
- 9月1日
ソ連空軍機による大韓航空機撃墜事件
- 10月3日
三宅島21年振りの噴火
- 10月12日
東京地方裁判所のロッキード事件関係判決公判で田中角栄元首相に実刑判決
- 12月27日
第二次中曽根康弘内閣成立
- テレホンカード発売
セクシーライン復活
サマーセーター人気がピークに
ポロシャツ流行
天然繊維ブーム(アンゴラ人気)

誕生日会(組合会議室)

4月1日(3, 4, 5月)、5月4日(4, 5, 6月)、6月1日(5, 6, 7月)、9月1日(7, 8, 9月)、10月2日(9, 10, 11月)、11月2日(10, 11, 12月)、12月7日(11, 12月)、1月20日(1, 2月)、2月3日(1, 2, 3月)、3月2日(2, 3, 4月)

昭和58(1983)年度

- 5月24日
第22回(昭和58年度)通常総会と講習会(名古屋商工会議所)
講習会テーマ:「商取引に関する関税(印紙税)について」
講師:中税務署 小林関税担当官
- 6月30日
コットン・ファッション・セミナー(センタービル)
テーマ:「84年SSコットン・ファブリックとファッションの動向」
講師: I I C国際綿花振興会パリ事務所ファッション室長
ニコル・トットル女史
- 10月4~5日
「84年ナゴヤファッションフェスタ」(名古屋中小企業振興会館)
参加店を支援
- 12月16日
コットン・ファッション・セミナー(センタービル)
テーマ:「85年SSコットン・ファブリックとファッションの動向」
「85年ウインター・コットンとファッションの動向」
講師:日本綿業協会コットンセンター長 柳原美紗子女史

昭和59(1984)年

- 1月9日
新年賀詞交歓会(名古屋都ホテル)

誕生日会(組合会議室)

4月5日(3, 4, 5月)、5月4日(4, 5, 6月)、6月3日(5, 6, 7月)、9月6日(7, 8, 9月)、10月5日(9, 10, 11月)、11月2日(10, 11, 12月)、12月12日(11, 12月)、1月19日(1, 2月)、2月14日(1, 2, 3月)、3月2日(2, 3, 4月)

昭和59(1984)年

- 3月18日
江崎グリコ社長誘拐事件発生、その後森永事件へと発展
- 9月14日
長野県西部地震(M6.8)、死者行方不明29名
- 11月16日
東京世田谷区で地下ケーブル火災、最大の電話網マヒ
- 11月30日
新紙幣発行、1万円札(福沢諭吉)、5千円札(新渡戸稲造)、1千円札(夏目漱石)
- エリマキトカゲ人気、東山動物園にコア
ラがお目見え
三浦和義のロス疑惑
肌着が善戦、カットソー台頭
ラッセル・柄バンティストッキング急増
メンズアダルトで白のシャツブルゾン
人気
スタジアムジャンパー人気

昭和60(1985)年

- 3月10日
青函トンネル貫通(総延長53.8km)
- 3月17日~9月16日
科学万博-つくば85(国際科学技術博覧会)開催
- 4月1日
日本電信電話株式会社(NTT)、日本たばこ産業株式会社(JT)が正式に発足、名古屋市内の地下街と地下鉄駅構内が終日全面禁煙となる
- 4月28日
西尾武喜名古屋市長誕生
- 8月12日
羽田発大阪行き日航ジャンボ機が群馬県の山中に墜落、世界最大の航空機事故に、乗員乗客520名が死亡、4

昭和59(1984)年度

- 5月9日
第23回(昭和59年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
- 11月16日
工場見学会及び懇親会
見学先:尾西市 中伝毛織株式会社
一宮市 艶金染工株式会社
懇親会:一宮市 末木
- 12月19日
コットン・ファッション・セミナー(センタービル)
テーマ:「85~86年ウインター・コットンとファッションの動向」
「86年SSコットン・ファブリックの見通し」
講師:財団法人日本綿業振興会コットンセンター長
柳原美紗子女史

昭和60(1985)年

- 1月8日
新年賀詞交歓会(名古屋国際ホテル)
- 2月16日
第9回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

誕生日会(組合会議室)

4月5日(3, 4, 5月)、5月8日(4, 5, 6月)、6月5日(5, 6, 7月)、9月17日(7, 8, 9月)、10月18日(9, 10, 11月)、11月1日(10, 11, 12月)、12月4日(11, 12月)、1月24日(1, 2月)、2月19日(1, 2, 3月)、3月5日(2, 3, 4月)

昭和60(1985)年度

- 4~6月 事業者台帳の作成
134社に送付。78社(58.2%)から回答
- 5月14日
第24回(昭和60年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
- 6月6日
コットン・ファッション・セミナー(センタービル)
テーマ:「86年春夏コットンとファッションの動向」
「86/87年秋冬コットン・ファブリックの見通し」
講師: I I Cアムステルダム事務所
ピッケ・ファン・ゾースト女史

名が奇跡的に生存救助される

9月22日

G5 (先進5ヶ国蔵相・中央総裁会議)
によるプラザ合意成立

日本の対外純資産額1298億^{ドル} (85年末)、
世界第一位に

ファミコンブーム

いじめ問題深刻化

豊田商事事件

ハレーすい星76年振りに日本に接近

ミニやロング、セミタイト、フレアーな
どスカートが復活

レディースニットは羽織るタイプが牽
引、肩パット付きがニット企画の主流に
健康肌着企画相次ぎ登場

ホワイトラッセルパンストがブーム、ス
パッツの動きが活発化

ポリエステルメーカー8社、ポリエス
テル長繊維の需要振興を図るため、一大キャ
ンペーン実施

昭和61 (1986) 年

4月1日

男女雇用機会均等法施行

5月4日

東京サミット開催

5月8～13日

英国チャールズ皇太子・ダイアナ妃来
日

7月22日

第三次中曽根康弘内閣成立

11月15～23日

伊豆大島・三原山が大噴火、全島民が
島外へ避難

6月7～10日

第1次台湾

繊維市場調

査団の派遣

(横山章一

理事長を団

長に19名)

台湾繊維

業界と交

流を図る



11月15日

工場見学会及び懇親会

見学先：豊田市 トヨタ自動車工場

小原村 小原和紙工芸会館

懇親会：旭町 笹戸温泉 湯富屋

昭和61 (1986) 年

1月10日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

2月22日

第10回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

誕生日会 (組合会議室)

4月9日 (3, 4, 5月)、5月17日 (4, 5, 6月)、6月18
日 (5, 6, 7月)、7月10日 (6, 7, 8月)、9月17日 (8,
9, 10月)、10月16日 (9, 10, 11月)、11月5日 (10, 11,
12月)、12月4日 (11, 12月)、1月27日 (1, 2月)、2月7
日 (2, 3月)

昭和61 (1986) 年度

5月9日

第25回 (昭和61年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

8月

61年度業界の実態把握を目的とした事業者台帳作成のため、組合
員に調査書を郵送 (作成期間60年4月～61年3月)

9月19～22日

第2次台湾繊維市場調査団の派遣 (横山章一理事長を団長に13
名)

台湾市場と交流を図る

11月14日

工場見学会及び懇親会

見学先：美濃加茂市 株式会社ヤマザキマザック美濃加茂製作

11月25日

三菱銀行現金輸送車が襲撃され、3億
3000万円奪われる

年末からバブル経済始まる

株価高騰マネーゲーム

インポートブーム、一方で偽ブランド横
行

温泉ブーム始まる

ボディコンシャス、ワンレングス人気

タートルセーターの人气が上昇

昭和62 (1987) 年

4月1日

国鉄が分割民営化、JR営業開始

6月20日

通産省、1987年の繊維製品輸入数量、
戦後初めて輸出を上回ると予測

10月12日

利根川進教授ノーベル医学・生理学賞
受賞

10月19日

ニューヨーク株式市場大暴落 (ブラッ
クマンデー)

11月6日

竹下登内閣成立

11月29日

大韓航空機、インド洋ベンガル湾上空
で北朝鮮工作員により爆破される

所

関市：金子孫六 刀匠

懇親会：関 関の孫六苑

12月17日

コットン・ファッション・セミナー (センタービル)

テーマ：「87/88年秋冬コットン・ファブリックとファッショ
ンの傾向」

「88年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師：日本綿業振興会 柳原美紗子女史

昭和62 (1987) 年

1月9日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

2月7日

第11回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

誕生日会 (組合会議室)

4月22日 (3, 4, 5月)、5月27日 (4, 5, 6月)、6月
13日 (5, 6, 7月)、7月9日 (6, 7, 8月)、9月16日 (8,
9, 10月)、10月15日 (9, 10, 11月)、11月7日 (10, 11,
12月)、12月11日 (11, 12月)、1月16日 (1, 2月)、2月
6日 (1, 2, 3月)

昭和62 (1987) 年度

5月19日

第26回 (昭和62年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

6月9日

コットン・ファッション・セミナー (センタービル)

テーマ：「88/89年春夏コットン・ファブリックとファッショ
ンの傾向」

「88年秋冬コットン・ファブリックの見通し」

講師：日本綿業振興会 柳原美紗子女史

秋

横山章一理事長に藍綬褒章が授与される

11月

実態調査を実施

「繊維近代推進協議会実態調査」

「売買取引に関する調査」

「委託加工取引に関する調査」

11月7日

工場見学会及び懇親会

ニット、靴下ともに驚異的な輸入ラッシュ
 ユ
 ワイシャツの袖をクリップやアームバンドで止め、サスペンダー付きズボンを履くレトロ趣味のスタイルが学生や若いビジネスマンに流行

昭和63(1988)年

3月13日
 世界最長の青函トンネル開業

4月10日
 本州と四国を結ぶ(児島～坂出ルート)世界最長の瀬戸大橋開通

10月7日
 中日ドラゴンズ4度目のセリーグ優勝

地方博がブーム
 リクルート疑惑
 渋谷ジブーム
 インポートブランドブーム
 海外デザイナー提携でブランド肌着花盛り
 サポートパンストの比率急上昇

見学先：大津市 叶匠壽庵「寿長生の郷」
 懇親会：犬山市 臨江館

12月16日
 コットン・ファッション・セミナー(センタービル)
 テーマ：「88/89年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」
 「89年春夏コットン・ファブリックの見通し」
 講師：日本綿業振興会 柳原美紗子女史

昭和63(1988)年

1月9日
 新年賀詞交歓会(名古屋国際ホテル)

3月5日
 第12回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

誕生日会(組合会議室)
 4月19日(3, 4, 5月)、5月13日(4, 5, 6月)、6月19日(5, 6, 7月)、7月18日(6, 7, 8月)、9月17日(8, 9, 10月)、10月14日(9, 10, 11月)、11月7日(10, 11, 12月)、12月15日(11, 12月)、1月18日(1, 2月)、2月17日(1, 2, 3月)

昭和63(1988)年度

5月9日
 第27回(昭和63年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
 6月7日
 コットン・ファッション・セミナー(センタービル)
 テーマ：「89/90年春夏コットン・ファブリックとファッションの傾向」
 「89年秋冬コットン・ファブリックの見通し」
 講師：財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

8月
 実態調査を実施
 「愛知県繊維産業国際対応調査」(愛知県商工部繊維雑貨課)

9月
 実態調査を実施
 「昭和63年度需要動向調査」(中小企業事業団情報センター)

9月26日
 台湾アパレル業者との懇談会(名古屋商工会議所)
 台湾業者側：台湾アパレル・素材フェア出展業者17社
 組合側：株式会社リオ横山 他18社

9～10月
 実態調査を実施
 「事業台帳による業界の実態調査」

10月14日
 第13回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

11月15日
 工場見学会及び懇親会
 見学先：磐田市 日本たばこ産業東海工場
 懇親会：浜松市 グランドホテル浜松 聴涛館

12月1日
 コットン・ファッション・セミナー(愛知県産業貿易館)
 テーマ：「89/90年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」
 「90年春夏コットン・ファブリックの見通し」
 講師：財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

12月9日
 臨時総会(愛知県中小企業センター)
 有限会社中部メリヤス会館より組合事務所移転の要請があったため

↓
 事務所としてナビシティ丸の内(名古屋市中区丸の内1丁目15)を会館側より寄附される

平成元(1989)年
 2月2日
 臨時総会、及び消費税説明会(愛知県中小企業センター)
 臨時総会

消費税導入施行による共同行為(カルテル)実施について日本ニット中央卸商業組合連合会の方針に沿い、外税方式を採用。共同行為(カルテル)結成を全会一致で可決した後、消費税対策委員会(水谷信義委員長他11名)が設置され、承認される
 消費税説明会
 テーマ：「消費税について」
 講師：名古屋国税局関税部 遠山道夫氏

誕生日会(組合会議室)
 4月8日(3, 4, 5月)、5月30日(4, 5, 6月)、6月不明(5, 6, 7月)、7月18日(6, 7, 8月)、10月14日(9, 10, 11月)、12月17日(10, 11, 12月)、1月20日(1, 2月)、2月15日(1, 2, 3月)

平成元(1989)年
 1月7日
 昭和天皇崩御、年号を平成に改元、明仁親王が皇位継承
 2月24日
 大喪の礼
 4月1日
 消費税3%の導入
 6月2日
 宇野宗佑内閣成立
 6月4日
 中国で天安門事件
 7月15日～11月26日
 名古屋市制100周年を記念して世界デザイン博覧会を開催、それを記念して東山スカイタワー開業
 8月9日
 海部俊樹内閣成立
 9月10日
 名古屋市営地下鉄6号線(桜通線)、中村区役所駅～今池駅開通
 11月9日
 ベルリンの壁崩壊

12月2～3日

マルタ島で米ソ首脳会談、東西冷戦終結を確認

12月23日

ルーマニア・チャウシェスク体制崩壊、大統領夫妻処刑される

ダナ・キャランの「DKNY」、キャリア女性を中心に急伸

新素材の開発により、ポリエステルを中心とする合繊人気復活

サラリーマンにソフトスーツ浸透

平成元 (1989) 年度

5月17日

第28回 (平成元年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

5月25日

コットン・ファッション・セミナー (名古屋ATビルホール)
テーマ: 「90年春夏コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「90～91年秋冬コットン・ファブリックの見通し」

講師: 財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

9月30日

組合事務所を移転 (名古屋市中区丸の内1丁目へ)

10月13日

第14回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

11月22日

工場見学会及び懇親会

見学先: 浜松市 ヤマハ株式会社本社グランドピアノ工場

懇親会: 袋井市 葛城北の丸

11月29日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易館)

テーマ: 「91年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「92年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師: 財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

平成2 (1990) 年

1月10日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

実態調査を実施

「取引条件及び慣行に関する実態調査」(繊維取引近代化推進協議会)

「商品見本に関する実態調査」(繊維取引近代化推進協議会)

「契約書ニューモデルの作成に関する意識調査」(繊維取引近代化推進協議会)

誕生日会 (組合会議室)

4月11日 (3, 4, 5月)、5月18日 (4, 5, 6月)、6月20日 (5, 6, 7月)、7月11日 (7, 8, 9月)、11月9日 (10, 11, 12月)、1月24日 (1, 2月)、2月15日 (1, 2, 3月)、3月26日 (2, 3, 4月)

平成2 (1990) 年

1月16日

株価大暴落、債券、円を含めトリプル安

2月28日

第2次海部俊樹内閣成立

3月13日

ソ連一党独裁放棄、大統領制に移行、ゴルバチョフ氏が大統領に

4月1日～9月30日

大阪で国際花と緑の博覧会 (花の博覧会) を開催

6月29日

礼宮様と雅子様結婚の儀

8月2日

イラクがクウェートに侵攻、中東湾岸危機勃発

10月3日

東西ドイツ45年ぶりに統一

11月12日

天皇陛下即位の礼

11月22～23日

大嘗祭

10～20代女性の間でソフトキュロット、サイクリストパンツ、ジーンズをひざ丈でカットしたものなど、ショートパンツ流行、ミニスカート定着、パンストも注目される

紺ブレ (紺色・金ボタンプルザー) やダウンジャケット、フィッシャーマンセーター、チノパンツなどのリバイバル・カジュアルがブーム

保温肌着は薄地企画で快適性追求

平成2 (1990) 年度

5月10日

第29回 (平成2年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

6月25日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易会館)
テーマ: 「90年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「90～91年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師: 財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

8月9日

第15回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

10月9日

工場見学会及び懇親会

見学先: 長浜市 長浜産業株式会社 (ちりめん工場)、長浜楽市 彦根市 彦根城

懇親会: 彦根市 八景亭

10月11日～11月10日

組合「愛称」の募集と設定

応募者数: 77名

最優秀賞: MEI・KNIT (メイ・ニット)

11月29日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易会館)

テーマ: 「91～92年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「92年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師: 財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

12月10日

大店法改正セミナー (名古屋商工会議所)

テーマ: 「大店法改正に伴う卸売業の対応について」

講師: 船井総研 三上元氏

平成3 (1991) 年

1月10日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

実態調査を実施

「ニット卸売業取引適正化指針」作成資料に関する実態調査

誕生日会 (組合会議室)

4月10日 (3, 4, 5月)、5月9日 (4, 5, 6月)、6月8日 (5, 6, 7月)、7月19日 (6, 7, 8月)、9月14日 (8, 9, 10月)、1月25日 (11, 12, 1月)、2月22日 (1, 2,

平成3 (1991) 年

1月17日

国連により認可された34ヶ国の多国籍軍がイラクへ侵攻、2月28日にイラクの敗北で終結 (湾岸戦争)

2月23日

皇太子様、立太子宣明の儀

5月19日
長崎県雲仙普賢岳噴火、6月3日には
大規模な火砕流発生、死者行方不明43
名

9月24日
経済企画庁、86年12月から始まった
大型景気がいざなぎ景気を越えたと
発表

11月5日
宮沢喜一内閣成立

12月25日
ゴルパチョフ大統領辞任、ソ連解体

バブル経済の崩壊

南アフリカがアパルトヘイトを撤廃

イトマン事件

ジュリアナ東京オープン、ボディコン人
気、ミニスカート定着、膝上10~20cm
の超ミニも

構造改善事業委員会が「ニット卸の取引
適正化指針」示す

セーターはタートルとハイネックに人
気集中

セーター輸入で中国が首位に

ヤングにブーツカットやベルボトムの
ジーンズ流行

3月)、3月6日(2, 3, 4月)

平成3(1991)年度

5月10日
第30回通常総会と講演会(愛知県中小企業センター)
名称を「名古屋ニットファッション卸商業組合」に改称
講演テーマ:「最近のニット業界の現状と今後の対応」
講師:株式会社センイ・ジヤナル社長 津田幹男氏

5月24日
コットン・ファッション・セミナー(愛知県産業貿易館)
テーマ:「92年春夏コットン・ファブリックとファッションの
傾向」
「92~93年秋冬コットン・ファブリックの見通し」
講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

7月16日
人材確保戦略シンポジウム(名古屋市中小企業振興会館)
テーマ:「企業は今、求職者に何を求められているか」
講師:現代人間科学研究所所長 飛岡健氏

8月23日
流通、取引慣行に関する独占禁止法の指針、ガイドラインについ
ての説明会(愛知県産業会館)
講師:公正取引委員会事務局 中部事務所担当官

8月23日
第16回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

10月25日
工場見学会及び懇親会
見学先:美濃市 美濃和紙工場 有限会社美濃創芸吉田行三工
場
工場見学後、郷土史大家の内木先生の案内で「うだつ」のあ
る古い町並みの美濃市街を見学
懇親会:美濃 緑風荘

11月27日
コットン・ファッション・セミナー(愛知県産業貿易館)
テーマ:「92~93年秋冬コットン・ファブリックとファッショ
ンの傾向」
「93年春夏コットン・ファブリックの見通し」
講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

平成4(1992)年

1月9日
新年賀詞交歓会(名古屋国際ホテル)

2月
取引慣行の条件について、実態調査を実施
2月26日
研修会「人材の確保と労働条件」(愛知県中小企業センター)
講師:亀井労務事務所所長 亀井節子女史

3月12日
研修会「未来を生き抜くためのニット卸売業の活性化戦略」(愛
知県中小企業センター)
講師:産業経済体力研究所副所長 宮本政道氏

3月19日
研修会「最近の物流トレンドとその対応」(愛知県中小企業セン
ター)
講師:高末社長 高村武彦氏

誕生日会(組合会議室)

4月10日(3, 4, 5月)、5月14日(4, 5, 6月)、6月
12日(5, 6, 7月)、9月25日(8, 9, 10月)、12月11日
(10, 11, 12月)、1月22日(12, 1, 2月)、2月13日(1,
2, 3月)、3月12日(2, 3, 4月)

平成4(1992)年度

5月12日
第31回(平成4年度)通常総会(愛知県中小企業センター)
5月25日

コットン・ファッション・セミナー(愛知県産業貿易館)
テーマ:「93年春夏コットン・ファブリックとファッションの
傾向」
「93~94年秋冬コットン・ファブリックの見通し」
講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

8月21日
第17回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

9月
「中小卸売業の商慣行の実態把握に関する調査」を実施

11月13日
工場見学会及び懇親会
見学先:岐阜県真正町 リオワールド 岐阜県太郎丸 NHK
信長オープンセット
岐阜市 美術館 三法荘
懇親会:岐阜市 ひら井

11月26日
コットン・ファッション・セミナー(愛知県産業貿易館)

平成4(1992)年
3月14日
東海道新幹線に「のぞみ」登場

7月1日
東京~山形間にミニ新幹線「つばさ」
開業

9月12日
国公立学校で週休二日制スタート

10月21日
東京佐川急便事件(ヤミ献金)をめぐ
り、金丸信元自民党副総裁が議員辞職
翌年3月6日逮捕

10月29日
名古屋港水族館開館

統一教会の国際合同結婚式、靈感商法が
社会問題に

大店法規制緩和、SC誘致急激に増える
10代に1~2サイズ大きめを着るグラ
ンジ(だぼだぼ)ルックが流行
紳士肌着で新ブランド相次ぐ
フレンチカジュアル継続の中でカット
ソーが人気

パンストの新サポートタイプ登場
ワコールの「グットアップブラ」登場、
ボディコンプーム背景に“寄せて上げ
る”が人気

縫製業の中国進出加速

平成5 (1993) 年

1月15日

釧路沖地震 (M7.5)、死者2名

5月15日

Jリーグ (日本プロサッカーリーグ)

開幕

7月12日

北海道西南沖地震 (M7.8)、死者行方不明230名

7月18日

衆議院選挙で自民党過半数割れ、55年体制崩壊、自民党が野党に転落

8月9日

細川護熙連立内閣成立

9月21日

プロ野球FA制導入

10月28日

ドーハの悲劇、サッカー日本代表アジア地区最終予選対イラク戦でロスタイムに同点に追いつかれ、ワールドカップ出場を逃す

11月

日本初のアウトレットモール「アウトレットモール・リズム」(埼玉県ふじみ野市) 誕生

12月8~9日

屋久島・白神山地・法隆寺地域仏教建造物・姫路城が日本初の世界遺産に登録される

郊外型紳士服専門店全国に広まる

SC開設年間150店舗、出店のピークを迎える

ワールドの「オゾック」、国内SPA (製造小売業) 第1号店として誕生

形状記憶ワイシャツ人気、タイトスカート目立つ

サッカー人気の高まりで観戦ファッションなどのスポーツカジュアル売れる
ニューインナー台頭、肌着企画競争が外衣並みに

テーマ:「93~94年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「94年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

平成5 (1993) 年

1月7日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

誕生日会 (組合会議室)

4月9日 (3, 4, 5月)、5月14日 (4, 5, 6月)、6月11日 (5, 6, 7月)、9月22日 (7, 8, 9月)、11月4日 (9, 10, 11月)、12月10日 (10, 11, 12月)、1月21日 (1, 2, 3月)、2月16日 (1, 2, 3月)、3月13日 (2, 3, 4月)

平成5 (1993) 年度

5月19日

第32回 (平成5年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

総会後、「歴史による健康法」(作家・大野一英氏) を講演

5月24日

コットン・ファッション・セミナー (瀧定本社ビル)

テーマ:「94年春夏コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「94~95年秋冬コットン・ファブリックの見通し」

講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

8月20日

第18回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

9月

「中小卸売業の商慣行の実態把握に関する調査」を実施

10月26日

工場見学会及び懇親会

見学先:奈良県大和高田市 進弘繊維株式会社

奈良県橿原市 トイザラス、橿原神宮

懇親会:奈良県橿原市 橿原観光ホテル

11月25日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易館西館)

テーマ:「94~95年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「95年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

国内縫製業の間で国内研修協力機構 (JITCO) の外国人研修・技能実習制度活用広がる

平成6 (1994) 年

3月1日

ダイエーが忠実屋、ユニードダイエー、ダイハナの3社を吸収合併。スーパーとしては北海道から沖縄までカバーする日本初のナショナルチェーンとなる

4月26日

中華航空機名古屋空港への着陸失敗・炎上、264名死亡

5月

通産省、MFA (繊維セーフガード) 発動基準措置取り扱いについての提言をまとめる

6月27日

松本市で有毒ガス「サリン」発生、7名死亡

6月30日

村山富一連立内閣成立、自民党が与党に復帰

7月8日

北朝鮮の金日成死去

9月

QR推進協議会発足

9月4日

関西国際空港開港

10月4日

北海道東方沖地震 (M8.2)、重軽症者200名以上

10月13日

大江健三郎ノーベル文学賞受賞

12月28日

三陸はるか沖地震 (M7.6)、青森、岩手を中心に死者3名、重軽症者300名以上

価格破壊が進行

いじめ自殺深刻化、就職氷河期

平成6 (1994) 年

1月7日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

3月7日

POPの書き方講習会 (愛知県中小企業センター)

テーマ:「買うか買わないかはPOPで決まる」

講師:こおむら企画 甲村紘三氏

誕生日会 (組合会議室)

4月15日 (3, 4, 5月)、6月18日 (5, 6, 7月)、9月10日 (7, 8, 9月)、11月17日 (9, 10, 11月)、12月9日 (10, 11, 12月)、1月21日 (1, 2, 3月)、2月16日 (2, 3, 4月)、3月11日 (3, 4, 5月)

平成6 (1994) 年度

4月21日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易館)

テーマ:「95年春夏コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「95~96年秋冬コットン・ファブリックの見通し」

講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

5月18日

第33回 (平成6年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

8月26日

第19回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

11月9日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易館)

テーマ:「95~96年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」

「96年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師:財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

11月10日

工場見学会

見学先:和歌山市 株式会社島精機製作所、関西空港

平成7 (1995) 年

1月12日

新年賀詞交歓会 (名古屋国際ホテル)

3つボタンスーツ、高機能スーツ浸透
透けない白の水着ヒット
バンストはゾッキ企画が起爆剤に

平成7 (1995) 年

1月1日
WTO (世界貿易機関) 発足、同時に
ATC (繊維協定) 発効。名古屋グ
ランパスサッカー天皇杯初制覇

1月17日
阪神・淡路大震災 (M7.3)、死者 6434
名、行方不明者 3名、負傷者 4万 3792
名

3月20日
東京地下鉄サリン事件、死者 11 名、
重軽症者約 5000 名

3月30日
警視庁の国松長官が狙撃される

5月16日
山梨県上九一色村でオウム真理教の
教祖・麻原彰晃が地下鉄サリン事件の
首謀者として逮捕される

5月27日
名古屋市がイタリアトリノ市と姉妹
都市提携

7月1日
PL (製造物責任) 法施行、PHS (簡
易型携帯電話) サービス開始

8月15日
終戦 50 周年

11月15~19日
APEC (アジア太平洋経済協力会
議) を大阪で開催

新繊維法で電子取引の促進へ
ミニピタTシャツ・へそ出しルック流行
豊かな胸を演出する新機能ブラジャー
人気
見せる下着が人気となり、女性がメンズ
ブリーフを買い求める
ズボンずり下げ、レッグウォーマー人気
カジュアルフライデー採用企業増える

2月7~11日

インドネシア繊維産業視察団の派遣

団長=横山章一理事長、副団長=森恒夫副理事長、実行委員長
=脇田佳男、高木明両
氏。計 17 名が参加

8日=ジャカルタの
三和銀行現地駐在ス
タッフからインドネ
シアの現況を聴講後、
ジャカルタの中国系
丸編縫製工場、イド
ラ・バングン・イデ
アを視察

9日=市内視察

10日=スラバヤのシキボウ系紡績・織布・縫製工場、メルテ
ックスの視察、及び商談



平成7 (1995) 年度

4月17日

95~96 秋冬ヨーロッパ・コレクションセミナー (愛知県産業貿
易館)

テーマ:「レトロ&クチュールの影響と引用法」

講師: オフィスオオツカ代表 大塚陽子女史

4月29日

横山章一理事長に勲四等瑞宝章が、水谷信義副理事長に黄綬褒章
が授与される

5月17日

第 34 回 (平成7年度) 通常総会 (愛知県中小企業センター)

総会終了後、説明会

テーマ:「繊維工業構造改善臨時措置法の一部を改正する法
律」

肌着などの実用衣料、衣料全体の伸びを
上回る

「オゾック」「イネド」など、平成ブラ
ンド人気急上昇
SPA世界ナンバーワンのキャップ、銀
座に1号店出店

講師: 中部通産局生活産業課長 山田和雄氏

5月19日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易館)
テーマ:「96年春夏コットン・ファブリックとファッションの
傾向」

「96~97年秋冬コットン・ファブリックの見通し」

講師: 財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

5月24日

説明会 (組合会議室)

テーマ:「団体PL保険制度について」

講師: 住友海上火災保険株式会社 松村氏

8月2日

「96年春夏婦人服ファッショントレンドの展望」

96年春夏婦人服ファッショントレンドの解説

講師: 株式会社インターファッション 館昌宏氏

96年春夏婦人服小売りマーケット情報

講師: 有限会社タナカプランニング 田中照夫氏

8月25日

第 20 回ボウリング大会 (星ヶ丘ボウル)

10月26日

工場見学会及び懇親会

見学先: 中部電力浜岡原子力発電所、資生堂アート・ハウス

懇親会: 御前崎グランドホテル

11月6日

96 春夏ヨーロッパ・コレクションセミナー (愛知県産業貿易館)
テーマ:「世界的不安定な経済環境の中でのファッション変
化」

講師: オフィスオオツカ代表 大塚陽子女史

テーマ:「96~97年秋冬コットン・ファブリックとファッ
ションの傾向」

「97年春夏コットン・ファブリックの見通し」

講師: 財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

11月18日

K・F・Gゴルフ会 (小原カントリークラブ)

11月24日

コットン・ファッション・セミナー (愛知県産業貿易館)

平成8 (1996) 年

1月17日

新年賀詞交歓会 (名古屋東急ホテル)

平成8 (1996) 年

1月11日

橋本龍太郎内閣成立

4月12日
マツダが実質的にフォードの子会社になる

6月1日
コマ販売の自由化スタート

8月
セレクトショップ急増

11月22日
テレビショッピング、ジュピターショップチャンネル開業

12月17日
ペルーの日本大使館公邸を左翼ゲリラが襲撃、パーティ出席の外交団、在留邦人を監禁、翌年4月22日に武力解決

病原性大腸菌O-157騒動
葉害エイズ問題
アムラー（安室奈美恵のファッションを真似た）若い女性急増。茶髪、ロングヘア、細い眉、ベージュ系の化粧、厚底の靴、ミニスカートかショートパンツ、冬にはマキシコートなどの独特のスタイルが流行
夏にストッキングをはかない「ナマ足」が若い女性の間で流行。秋には柄タイツが流行、網タイツやレース柄に黒や茶色のものが人気
女子高校生にルーズソックスが流行、プリクラ登場

平成8（1996）年度

4月3日
96～97 秋冬ヨーロッパ・コレクションセミナー（愛知県産業貿易館）
テーマ：「シンプルイズムが進む・96/97 秋冬コレクション」
講師：オフィスオオツカ代表 大塚陽子女史

5月14日
コットン・ファッション・セミナー（愛知県産業貿易館）
テーマ：「97年春夏コットン・ファブリックとファッションの傾向」
「97～98年秋冬コットン・ファブリックの見通し」
講師：財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

5月15日
第35回（平成8年度）通常総会（愛知県中小企業センター）

6月14日
講演会（名古屋商工会議所ニット部会主催）
テーマ：「現状流通業界の動向と今後の対応策」
講師：株式会社船井総合研究所大阪経営指導本部小林グループ 箕浦幸孝氏

7月1日
ナゴヤニット・セルフ会創立20周年記念講演と懇親の夕べ（ホテルオークラレストラン）

8月7日
「97年春夏婦人服ファッショントレンドの展望」（愛知県産業貿易館）
97年春夏婦人服ファッショントレンドをスライドにて説明
～カラー・テキスタイル・シルエット・テーマなど～
講師：株式会社インターファッション常務取締役 館昌宏氏
マーケットから見た97SSポイント・・・
～ターゲット別・カラーとテキスタイル・アイテムなどの売れ筋予測～
講師：株式会社インターファッションテキスタイルディレクター 半田浩也氏

8月23日
第21回ボウリング大会（星ヶ丘ボウル）

10月19日
K・F・Gゴルフ会（リオ・フジワラカントリークラブ）

10月24日
工場見学会及び懇親会
見学先：名古屋税関（税関説明、監視艇にて港湾視察）、桑名

の街視察（石取会館、六華苑）
懇親会：柿安本店

11月13日
説明会（愛知県産業貿易館）
テーマ：「成人女子衣料（婦人服）JISサイズ改定について」
講師：JIS衣料サイズ推進協議会事務局長 川端龍義氏

11月20日
コットン・ファッション・セミナー（愛知県産業貿易館）
テーマ：「97～98年秋冬コットン・ファブリックとファッションの傾向」
「98年春夏コットン・ファブリックの見通し」
講師：財団法人日本綿業振興会 柳原美紗子女史

11月28日
繊維産業国際化対応（愛知県尾張東部地域繊維産業協議会主催・愛知県産業貿易館）
テーマ：「SPAの構図～国内繊維流通とSPAの最近の動向～」
講師：織研新聞社編集デスク 山崎光弘氏
テーマ：「SPAの最新動向と今後の展開」
講師：株式会社リオ横山及び株式会社リオチェーン代表取締役会長 横山章一氏

平成9（1997）年
1月9日
新年賀詞交歓会（名古屋東急ホテル）

平成9（1997）年度

平成9（1997）年
2月19日
中国の最高実力者、鄧小平死去（92歳）

3月12日
ナゴヤドームが開業

4月1日
消費税5%に引き上げ、容器包装リサイクル法施行

4月28日
松原武久名古屋市長誕生

5月
インターネットショッピングモール、楽天市場サービス開始

6月28日
神戸で児童殺傷事件の14歳少年逮捕

7月1日
香港が156年ぶりに中国へ返還される

4月2日
ヨーロッパ・コレクションセミナー（愛知県産業貿易館）
テーマ：「極端にマークしたウエスト・・・女らしさの表現を徹底分析」
講師：ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表 大塚陽子女史

5月15日
第36回（平成9年度）通常総会（愛知県中小企業センター）
終了後、講演会
テーマ：「あるインド人のひとりごと。不思議ですネ。でも面白いですネ。日本のアパレルビジネスは・・・」
講師：株式会社ジュピターインターナショナルコーポレーション専務取締役 キラン・セテイ氏

5月16日
コットン・ファッション・セミナー（愛知県産業貿易館本館）

7月29日
82年の松山ホステス殺人事件で容疑者が時効目前で逮捕

8月31日
英国のダイアナ元皇太子妃、パリで自動車事故死

9月5日
ノーベル平和賞受賞のカトリック修道女、マザーテレサ死去

9月18日
ヤオハングループの中核、ヤオハンジヤパン倒産

12月11日
京都で地球温暖化防止会議開催、先進国の温暖化ガス削減目標を盛り込んだ議定書採択

生保として戦後初の経営破綻となった日産生命保険(4月25日)を始め、三洋証券(11月4日)、北海道拓殖銀行(11月17日)、山一証券(11月24日)など金融機関の破綻相次ぐ

携帯電話急速に普及

若い女性にホルターネックの肩出しファッション、左前にスリットが入ったミニスカートが流行

チビTシャツ人気

「ババシャツ」と呼ばれる薄手肌着が冬場、若い女性に大人気

ルーズソックス一色だった女子高生足の足元に変化、紺ハイソックス派が登場

裏原(原宿裏通り)ストリート系ブーム起こる

テーマ:「98年春夏コットン・ファブリックとファッションの傾向」
「98年秋冬コットン・ファブリックの見直し」
講師:財団法人日本綿業振興会コットン・ファブリック・ライブラリー室長 柳原美紗子女史

6月25日
97 アイチファッションセミナー第1回(愛知県産業貿易館)
「98年春夏・婦人服商品企画講座」
講師:小売=株式会社小田急百貨店新宿店婦人服部長 早川憲武氏
アパレル・流通=伊藤忠ファッションシステム株式会社取締役社長 丸山武勇氏
テキスタイル=東京ロマン株式会社商品企画室室長 小山正夫氏

8月22日
第22回ボウリング大会(星ヶ丘ボウル)

9月25日
説明会(愛知県産業貿易館)
テーマ:「繊維製品品質表示の運用見直し」
講師:東京婦人子供服工業組合技術委員会品質管理研究会顧問 和田啓氏

10月13日
説明会(中部通商産業局)
テーマ:「家庭用品品質表示法に基づく繊維製品品質表示制度改正説明会の開催について」
講師:通商産業省生活産業局総務課繊維企画官付 矢崎智子女史

10月19日
K・F・Gゴルフ会(ユエグリーン中津川ゴルフクラブ)

10月22日
講演会(愛知県産業貿易館)
テーマ:「愛知県繊維産業ネットワークシンポジウム」
講師:瀧定株式会社代表取締役会長 瀧季夫氏

10月23日
工場見学会及び懇親会
見学先:愛知県警本部、常滑INAX
懇親会:東西屋

11月5日
ヨーロッパ・コレクションセミナー(愛知県産業貿易館)
テーマ:「消費者の心を掴むトレンドは何か?」
講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表 大塚陽子女史

12月17日
97 アイチファッションセミナー第2回(愛知県産業貿易館)
「98秋冬・婦人服商品企画(MD)講座」
講師:有限会社ファッションプランニング・コジマ代表 小島正美氏
株式会社ワールド・オブック事業部部長 檜皮和彦氏
市田株式会社テキスタイル事業部マーケティング室室長 神崎真人氏

平成10(1998)年
1月9日
新年賀詞交歓会(名古屋ヒルトンホテル)

平成10(1998)年度

平成10(1998)年
2月7~22日
冬季長野オリンピック開催

4月1日
金融ビッグバンスタート

5月27日
大規模小売店舗立地法制定

5月4日
石垣島南方沖地震(M7.7)

7月25日
和歌山毒物入りカレー事件、4名死亡、63名病院で手当てを受ける、12月に容疑者逮捕

7月30日
小淵恵三内閣成立

8月31日
北朝鮮のミサイル「テポドン」、三陸沖に落下

低価格志向で100円ショップ話題に
サッカーワールドカップフランス大会、日本代表初出場
キャミソール大ヒット
服地卸商の倒産相次ぐ
SCが本格台頭

4月2日
ヨーロッパ・コレクションセミナー(愛知県産業貿易館)
テーマ:「消費者に提供できるものは何か?」
講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表 大塚陽子女史

5月15日
第37回(平成10年度)通常総会(名古屋都市産業振興公社6階プレゼンテーションルーム)
森恒夫氏が理事長に就任。終了後、講演会を開催
テーマ:「グローバル化の中で諸文化の個性が消えていくか?」
講師:南山大学教授・クネヒト ペテロ氏

6月25日
98 アイチファッションセミナー第1回(愛知県産業貿易館)
「98~99年春夏・婦人服商品企画講座」
講師:東京・MDネットワーク代表 御田村蓉子女史
瀧定株式会社大阪店企画部・商品企画課課長 斉藤正弘氏

8月22日
第23回ボウリング大会(ブランドウイックスポルト)

10月12日
説明会「コンピューター西暦2000年問題」(名古屋栄ビル)

10月13日
研修会及び懇親会
見学先:近江八幡市
懇親会:喜兵衛

10月24日
K・F・Gゴルフ会(スリーレイクスカントリークラブ)

11月4日
ヨーロッパ・コレクション (愛知県産業貿易館)
テーマ:「スポーティマインドの行方」
講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

12月
八木兵株式会社が貿易貢献企業として表彰される
12月17日
98 アイチファッションセミナー第2回 (愛知県産業貿易館)
「99 秋冬・婦人服商品企画講座」
講師:東京・MDネットワーク代表 御田村蓉子女史
瀧定株式会社大阪店企画部・商品企画課課長
斉藤正弘氏

平成11 (1999) 年

1月8日
新年賀詞交歓会 (名古屋ヒルトンホテル)
2月23日
講演会(ナディアパーク デザインセンタービル6階)
テーマ:「日米のマーケット情報とファッションビジネス」
講師:TAKIHYO INC. チェアマン 滝富夫氏

平成11 (1999) 年度

4月7日
ヨーロッパ・コレクションセミナー (愛知県産業貿易館)
テーマ:「ニューミニマリズムの次に来るものは何か?」
講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

5月14日
第38回 (平成11年度) 通常総会 (名古屋都市産業振興公社6階
プレゼンテーションルーム)
終了後、講演会
テーマ:「アパレルの現状と海外情勢」
講師:株式会社ニット丸銭屋取締役営業部長 中本守彦氏

7月22日
99 アイチファッションセミナー第1回 (愛知県産業貿易館)
99~2000年春夏・婦人服商品企画講座
講師:小松精練株式会社マーケティング部門担当・営業本部
第2事業部門長取締役 山竹俊樹氏
小松精練株式会社マーケティング部門担当・ファッ
ション企画室室長 宮元むつ子女史
株式会社パルコ名古屋店次長 柴田廣次氏

9月8日
研修会及び懇親会
見学先:郡上八幡市
懇親会:積翠園
10月
優秀従業員表彰
10月12日
説明会「コンピューター西暦2000年問題」(名古屋栄ビル)
11月4日
ヨーロッパ・コレクション (愛知県産業貿易館)
テーマ:「着心地の良さの追求・・・70年代の影響」
講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

11月27日
K・F・Gゴルフ会 (京和カントリークラブ)
12月10日
説明会「容器包装リサイクル法」(愛知県産業貿易館)
12月16日
99 アイチファッションセミナー第2回 (愛知県産業貿易館)
「2000 秋冬・婦人服商品企画講座」
講師:東京・MDネットワーク代表 御田村蓉子女史
瀧定株式会社大阪店企画部・商品企画課課長
斉藤正弘氏

平成12 (2000) 年

1月7日
新年賀詞交歓会 (名古屋ヒルトンホテル)
3月23日
ヨーロッパ・コレクション (愛知県産業貿易館)
テーマ:「2000年秋冬・ヨーロッパ・ミラノ・パリコレク
ションレポート」
講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

平成12 (2000) 年度

5月15日
第39回 (平成12年度) 通常総会 (全日空ホテルグランコート名
古屋)
10月
優秀従業員表彰

平成11 (1999) 年

1月1日
名古屋グランパスサッカー天皇杯2
度目の制覇

1月14日
第2次小淵恵三内閣成立

3月27日
日産自動車ガレノと資本提携

5月1日
本州四国連絡橋の尾道~今治 (瀬戸し
まなみ海道) 全線開通

8月9日
日の丸を国旗、君が代を国歌とする国
旗・国歌法成立

9月30日
中日ドラゴンズ5度目のセリーグ優
勝

12月20日
ポルトガルからマカオが中国に返還
される

会計制度を国際基準に近づける会計ビ
ッグバン始まる

FA (ファッションアドバイザー) がカ
リスマ店員と称され、話題に
秋冬に手編みニットなど、欧米民族衣
装風のフォークロアファッションが人
気となる

2000 円札発行
 7月21～23日
 沖縄サミット開催
 9月11～12日
 名古屋市とその周辺地域で集中豪雨
 (名古屋市で2日間に一年の降水量
 の1/3を超える567mmの降水量を記
 録)、気象庁により「東海豪雨」と命
 名
 10月10日
 白川英樹博士ノーベル化学賞受賞
 10月
 鳥取県西部地震(M7.3)
 12月8日
 仏カルフル幕張に1号店出店
 パソコン普及率50.5%、過半数を超える
 大規模小売店舗立地法、中心市街地活性
 化法、改正都市計画法を制定、まちづく
 り3法と称される
 ユニクロ、しまむら新業態の小売店台
 頭
 渋谷109がヤングファッションのメ
 ッカとして脚光を浴びる
 アウトレットモール大流行
 網・柄・カラーといったタイツがファッ
 ションアイテムとして見直される

平成13(2001)年

2月10日
 宇和島水産高校実習生、ハワイ沖で米
 原子力潜水艦と衝突・沈没
 3月16日
 政府が戦後初めてデフレを公認
 3月31日
 大阪にユニバーサル・スタジオ・ジャ
 パンがオープン
 4月26日
 小泉純一郎内閣が成立

10月11日
 研修会及び懇親会
 見学先：近江商人発祥の地五箇荘町
 懇親会：納屋孫
 10月27日
 ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)
 テーマ：「21世紀の幕開けモードはどんな変化を見せたか」
 講師：ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
 大塚陽子女史
 11月11日
 K・F・Gゴルフ会(春日井カントリークラブ西コース)
 11月15日
 インターネット研修会(組合会議室)
 講師：株式会社アパレルウェブ代表取締役 千金楽健司氏
 12月10日
 説明会「容器包装リサイクル法」(愛知県産業貿易館)
 平成13(2001)年
 1月11日
 新年賀詞交歓会(名古屋国際ホテル)
 講演：株式会社中日ドラゴンズ社長 佐藤毅氏
 3月28日
 ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)
 テーマ：「2001～2002年秋冬コレクション報告・ミラノ・パリ」
 講師：ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
 大塚陽子女史

6月8日
 大阪池田小に刃物男乱入
 9月1日
 歌舞伎町ビル火災で44名死亡の大惨
 事
 9月10日
 国内で初めて狂牛病確認
 9月11日
 米国で同時多発テロ、世界貿易センタ
 ービル崩壊
 9月14日
 マイカルが民事再生法を申請
 10月10日
 野依良治博士ノーベル化学賞受賞
 12月1日
 雅子様女児出産
 12月22日
 奄美大島沖で海上保安庁の巡視船が
 国籍不明の不審船と銃撃戦
 大リーグでイチローの活躍始まる
 中国WTO正式加盟
 ローライズ(ヒップハンガー)ジーン
 ズが若い女性中心に人気
 70～80年代ファッションがヤング層に
 人気
 長さ2m以上のロングマフラー人気

平成13(2001)年度

5月15日
 第40回(平成13年度)通常総会(名古屋都市産業振興公社6階
 プレゼンテーションルーム)
 9月11日
 講習会 2001・アイチファッションマーケットセミナー「婦人服
 ニュー商品企画戦略講座」(名古屋ガーデンパレス)
 テーマ：「売り場から見た消費生活の変化」
 講師：近藤教文氏
 9月21日
 講習会「アパレル生産の一国集中化(中国)現状とこれからの変
 化と展望」(名古屋ガーデンパレス)
 テーマ：「一国集中化での変化とこれからの中国アパレルビジ
 ネスの展望」
 講師：小島正憲氏
 10月
 優秀従業員表彰(名古屋市長賞)
 10月11日
 研修会及び懇親会
 見学先：明宝村特産物品の生産販売
 懇親会：みずかみ
 10月30日
 ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)
 テーマ：「ファッション業界が厳しい経済状況の中でいかに勝
 ち残っていくか」
 講師：ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
 大塚陽子女史
 11月9日
 K・F・Gゴルフ会(京和カントリークラブ)
 11月19日
 縫製と外観検査のポイント研修会(名古屋センタービル)
 講師：森充氏他
 平成14(2002)年
 1月11日
 新年賀詞交歓会(名古屋マリオットアソシアホテル)
 東海ニット工業組合と共催し、交流を深める
 1月24日
 取引改善の講習会(繊維ファッション情報センター中小企業会
 館)
 テーマ：「繊維産業再生阻害要因の慣行の改善」
 講師：情報センター統括研究員 多田靖氏

平成14(2002)年

3月14日

西友が米国ウォルマートと包括的提携、20年4月25日にはTOB(株式会社公開買い付け)により完全子会社化

4月1日

ペイオフ一部解禁

5月1日～6月30日

サッカーワールドカップ日韓大会開催

6月

QR推進協議会を繊維ファッションSCM推進協議会に名称変更

9月17日

小泉首相、日本の首相として初めて北朝鮮訪問、金正日総書記と会談

10月8～9日

小柴昌俊博士ノーベル物理学賞、田中耕一名誉博士同化学賞受賞

10月15日

北朝鮮拉致被害者24年ぶり帰国

ジーンズやスパッツの上にスカートやワンピースを重ね履きするダブルボトムスタイルがブレイク

春夏はボヘミアン、冬にニット帽流行

3月27日

ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)

テーマ:「2002～2003年秋冬コレクション報告・ミラノ・パリ」

講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

平成14(2002)年度

5月15日

第41回(平成14年度)通常総会(名古屋都市産業振興公社6階プレゼンテーションルーム)

山口兼市氏が理事長に就任

9月13日

講習会「2002・アイチファッションマーケットセミナー」(名古屋ガーデンパレス)

テーマ:「阪急百貨店のファッション商品の变化と婦人服売り場の展開」

講師:株式会社阪急百貨店婦人服商品グループ統括マーチャン
デザイナー 川平泰三氏他

10月

優秀従業員表彰

10月9日

研修会及び懇親会

見学先:産業技術記念館、長島アウトレット・ジャズドリーム
懇親会:翡翠

10月28日

ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)

テーマ:「2003年春夏ファッションセミナー」

講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

11月16日

K・F・Gゴルフ会(春日井カントリークラブ西コース)

平成15(2003)年

1月9日

新年賀詞交歓会(名古屋銀行協会)

3月26日

ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)

テーマ:「2003～2004年秋冬婦人服ファッションセミナー」

講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

平成15(2003)年

3月20日

米英軍がイラクと開戦

3月27日

名古屋市営地下鉄上飯田線、平安通駅～上飯田駅開通

4月1日

日本郵政公社発足

4月7日

イオンが初めてスーパーで売上高首位に立つ

12月9日

政府、自衛隊のイラク派遣決定

12月14日

米軍がフセイン大統領を拘束

新型肺炎(SARS)世界中で猛威をふるう

オレオレ詐欺横行

中小繊維製造事業者自立事業、17年度までの3年間で1544件申請、555件採択

ヌーブラがブーム

スカートスタイル復活でレグウォーマーも人気

ユニクロやGMSがカシミヤ100%セーターを1万円以下で販売して話題に

平成16(2004)年

3月13日

九州新幹線が鹿児島～新八千代間で部分開業

4月7日

イラクで日本人3名人質となり、15日に解放される。その後も拉致(4月14日に2名、17日に解放、10月24日1名、30日に殺害)が相次ぐ

5月22日、7月18日

北朝鮮拉致被害者家族が帰国

7月

東山スカイタワーが日本夜景遺産に選定される、8月には夜景100選に選定される

9月18～19日

プロ野球初のスト決行

9月27日

第2次小泉改造内閣発足

10月1日

中日ドラゴンズ6度目のセリーグ優

平成15(2003)年度

5月15日

第42回(平成15年度)通常総会(名古屋都市産業振興公社6階プレゼンテーションルーム)

10月15日

研修会及び懇親会

見学先:知多中埜酒造

懇親会:肅海風

10月28日

ヨーロッパ・コレクション(名古屋ガーデンパレス)

テーマ:「2004年春夏婦人服ヨーロッパコレクションファッションセミナー」

講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

平成16(2004)年

1月14日

新年賀詞交歓会(名古屋マリオットアソシアホテル)

東海ニット工業組合と共催し、交流を深める

3月26日

ヨーロッパ・コレクション(愛知県産業貿易館)

テーマ:「2004～2005年秋冬婦人服ヨーロッパコレクションファッションセミナー」

講師:ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

平成16(2004)年度

5月8～11日

中国大連繊維産業視察団を派遣

山口兼市理事長を団長に15名が参加。大連のニット工場、旅順水師営会見所などを見学



勝

- 10月6日
名古屋臨海高速鉄道西名古屋港線（あおなみ線）が開通
- 10月23日
新潟県中越地震（M6.8）、死者68名、新幹線営業中に初の脱線
- 11月1日
1万円（福沢諭吉）、5千円（樋口一葉）、1千円（野口英世）新紙幣発行
- 11月2日
50年ぶりに新球団、東北楽天ゴールデンイーグルスが誕生
- 12月5日
東京で観測史上初の冬の夏日記録（24.8℃）熊谷は26.3℃

各地で集中豪雨や激しい雷雨
鳥インフルエンザ猛威振るう
オレオレ詐欺多様化で振り込め詐欺に命名
ダイエーが産業再生機構に支援を要請
日本ファッション協会が経済産業省の支援を受けて、ジャパンファッションフェア（JFF）に着手
名古屋嬢ファッションが注目される
セレブカジュアルに注目集まる

平成17（2005）年

- 2月16日
京都議定書が発効
- 2月17日
中部国際空港（セントレア）開業
- 3月
仏カルフル、イオンに店舗譲渡して日本からの撤退を決める
- 3月17日
安心・安全・快適条例施行により、名古屋駅・栄駅・金山駅・藤ヶ丘駅周辺が路上禁煙区域となる
- 3月18日～9月25日
愛・地球博ささしまサテライト会場で

- 5月13日
第43回通常総会（組合会議室）
- 9月17日
2005年春夏ファッションカラーセミナー（名古屋銀行協会）
講師：ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏
- 6月10日
研修会
「アイチファッションセミナー」
素材の工場見学（一宮地場産業ファッションデザインセンター）
- 9月17日
婦人服マーケット商品企画講座（名古屋ガーデンパレス）
講師：株式会社東急ストア 水谷治夫氏
- 10月28日
ヨーロッパ・コレクション（愛知県産業貿易館）
テーマ：「2005年春夏婦人服ヨーロッパコレクションファッションセミナー」
講師：ファッションジャーナリスト・オフィスオオツカ代表
大塚陽子女史

平成17（2005）年

- 1月7日
新年賀詞交歓会（名古屋銀行協会）
東海ニット工業組合と共催し、交流を深める

- デ・ラ・ファンタジア開催
- 3月20日
福岡県西方沖地震（M7.0）
- 3月25日～9月25日
21世紀最初のEXPOとなる日本万国博覧会、愛・地球博開催
- 4月25日
JR福知山線脱線事故、死者107名
- 8月16日
宮城県沖地震（M7.2）
- 9月1日
セブン&アイ・ホールディングス発足
- 9月21日
第3次小泉純一郎内閣成立
- 12月
日本海側各県で記録的な豪雪
- 12月22日
05年、日本の人口が統計開始以来、初めて自然減に転じたことが判明

環境省がクールビズ、ウォームビズを提唱
予想外の寒波が訪れ、防寒衣料が在庫切れ起す
英国ビクトリア王朝時代をモチーフとした装飾的デザインやミリタリー調コートなどが注目される

平成18（2006）年

- 前年12～1月
日本海側で記録的な大雪、雪下ろし中の事故などで150名以上が死亡、「平成18年豪雪」と命名
- 3月20日
ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）王ジャパン優勝
- 6～7月半ば
各地で大雨、集中豪雨、「平成18年7月豪雨」と命名
- 8月24日
冥王星が惑星から降格、太陽系の惑星は8個に

平成17（2005）年度

- 4月14日
2006年春夏カラーセミナー（名古屋センタービル）
講師：ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏
- 5月13日
第44回通常総会（ホテルキャッスルプラザ）
- 9月21日
2006年秋冬カラーセミナー（名古屋銀行協会）
講師：ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏

平成18（2006）年

- 1月13日
新年賀詞交歓会（名古屋マリオットアソシアホテル）
東海ニット工業組合と共催し、交流を深める

平成18（2006）年度

- 4月
経営者2世を中心とした若手幹部の会「ニット双葉塾」立ち上げ
- 4月14日
2007年春夏カラーセミナー（名古屋銀行協会）
講師：ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏
- 5月17日
第45回通常総会（ホテルキャッスルプラザ）

9月26日
安倍晋三内閣成立

10月1日
阪急ホールディングスと阪神電鉄が
経営統合、阪急阪神ホールディングス
誕生

10月10日
中日ドラゴンズ7度目のセリーグ優
勝

11月7日
北海道佐呂間町で国内最大規模の竜
巻発生、大惨事となる

12月30日
サダム・フセイン元イラク大統領処刑

セブン&アイ、ミレニアムホールディン
グスを完全子会社化
いじめ苦に自殺相次ぐ
ネット販売活発に
原燃料価格上昇
女性誌モデル、「エビちゃん」こと蛭原
友里が若い女性に大人気
秋にロングニットカーディガンが人気
スキニージーンズ登場、裾をブーツに入
れる「ブーツイン」スタイル流行
カラータイツブーム

平成19(2007)年

1月9日
防衛省発足

3月6日
ミッドランドスクエアが全面開業

3月9日
イオンがダイエーと資本業務提携を
発表、国内最大の流通業に

3月25日
能登半島地震(M6.9)

5月28日
ミス・ユニバース世界大会で森理世さ
んが優勝

7月10日
イチローが大リーグオールスター戦

9月21日
2007年秋冬カラーセミナー(名古屋銀行協会)
講師:ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏

10月6日
組合員とニット双葉会メンバーとの懇談(舞鶴館)
平成19(2007)年

1月11日
新年賀詞交歓会(東京第一ホテル錦)
東海ニット工業組合と共催し、交流を深める

1月23日
組合ホームページを開設

平成19(2007)年度

4月13日
2008年春夏カラーセミナー(名古屋銀行協会)
講師:ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏

で日本人初のMVPとなる

9月3日
大丸と松坂屋が経営統合、持ち株会社
Jフロントリテイリング誕生

9月26日
福田康夫内閣成立

10月1日
郵政民営化スタート、日本郵政グルー
プ発足

11月1日
中日ドラゴンズ53年ぶりの日本一

11月10日
名古屋港開港100周年記念開港祭

11月11日
中日ドラゴンズアジア一となる

12月25日
トヨタが年間自動車生産台数で世界
一に

12月末
携帯電話の加入台数が1億台を突破、
1億52万台となる

食品偽装相次ぐ
米国の低所得者向け住宅融資(サブプ
ライムローン)の焦げ付きが急増、世界に
金融不安広がる
レギンス、柄タイツブーム
ナイティ人気
靴下系SPAがレッグファッションブ
ームで快進撃

平成20(2008)年

4月1日
三越伊勢丹ホールディングス誕生

6月14日
岩手・宮城内陸地震(M7.2)、死者
行方不明者23名

9月13日
スウェーデンのカジュアル衣料チェ
ーン「H&M」が日本1号店を銀座に、
11月8日には原宿にも出店

5月16日
第46回通常総会(ホテルオークラレストラン)

9月7~9日
「双葉会」海外視察(上海)

9月13日
2008年秋冬カラーセミナー(名古屋銀行協会)
講師:ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏

平成20(2008)年

1月11日
新年賀詞交歓会(東京第一ホテル錦)
講演「2008年景況見通しと株価展望」
講師:大和証券株式会社エクイティ部次長 松永寛司氏

平成20(2008)年度

4月18日
2009年春夏カラーセミナー(名古屋銀行協会)
講師:ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏

5月21日
第47回通常総会(ホテルオークラレストラン)

7月16日
講演「事業継承ファンドについて」(組合会議室)
講師:日本プライベートエクイティ株式会社代表取締役社長
浜田真一氏

9月15日
米国証券大手リーマン・ブラザーズが
金融破綻、金融不安が拡大

9月24日
麻生太郎内閣成立

10月7日
小林誠博士と益川敏英博士ノーベル
物理学賞、下村脩博士同化学賞を受賞

10月22日
名古屋市がユネスコのデザイン都市
に選定（神戸市とともにアジア初）さ
れる

ゲリラ豪雨各地で起こる
中国製冷凍餃子への農薬混入事件
水の抵抗を抑えた競泳用水着「レーザー
レーサー」で世界新記録が続出
ユニクロの高機能肌着「ヒートテック」
話題に

ユニクロと外資系のファストファッ
ションのオープンに長蛇の行列、ファスト
ファッションがブームとなる

平成21（2009）年

3月23日
WBC日本代表が2連覇

4月28日
河村たかし名古屋市長誕生

4月29日
フォーエバー21、日本で初の1号店が原
宿にオープン

8月3日
東京地裁で全国初の裁判員裁判の公
判開始

9月16日
鳩山由紀夫内閣成立

11月4日
ヤンキースの松井秀喜がワールドシ
リーズで日本人初のMVP獲得

12月4日
郵政民営化凍結法成立

9月25日
2009年秋冬カラーセミナー（名古屋銀行協会）
講師：ダイヤ・ファッション・プランニング株式会社
松岡秀輔氏

10月22日
組合親睦ゴルフコンペ（春日井カントリークラブ）

11月8～9日
第8回名古屋長者町ゑびす祭に協賛出店



平成21（2009）年
1月15日
新年賀詞交歓会（東京第一ホテル錦）
講演「2009年景気の見通し」
講師：大和証券株式会社エクイティ部次長 森敦氏

パソコン研修（組合会議室）4回開催
名古屋市中小企業情報センターの出張パソコン講座を活用
講師：株式会社ニューホライズンCDトレーニングセンター名
古屋より派遣

10月14日 「ワード初級1」
10月28日 「エクセル初級1」
11月11日 「ワード初級2」
11月25日 「エクセル初級2」

平成21（2009）年度

4月17日
2010年春夏カラー&ファッションセミナー（名古屋銀行協会）

ドバイショック
新型インフルエンザ世界で猛威、死者1
万人を超える
米国自動車大手クライスラー、GM相次
ぎ経営破綻
価格1000円以下激安ジーンズ販売合戦
20～30代女性にスパンコールやラメな
ど光り物入りが人気
森にいそうな女の子、森ガールファッ
ションが人気
節約志向やエコへの関心高まりからホ
ームウェアやルームソックス、ホームカ
バーなどの室内ファッションに注目が
集まる
コンプレッションインナー（スポーツア
ンダー）人気高まる
レギンスに加え、トレンカも人気
高機能保温肌着の打ち出し過熱

平成22（2010）年
1月1日～12月31日
名古屋開府400年祭開催

6月13日
小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶり
に地球へ帰還、世界で初めて小惑星
「イトカワ」の砂微粒子の岩石試料回
収に成功

8月21日～10月31日
あいちトリエンナーレ2010開催

9月7日
尖閣諸島沖で中国漁船が海上保安庁
巡視船に衝突

10月1日
中日ドラゴンズ8度目のセリーグ優
勝

10月6日
鈴木章博士、根岸英一教授ノーベル化学
賞受賞

10月11～29日
名古屋で第10回生物多様性条約締結
国会議（COP10）を開催

講師：ダイヤモンド株式会社 笠原淑郎氏
5月20日
第48回通常総会（名古屋観光ホテル）
9月29日
2010年秋冬カラー&ファッションセミナー（名古屋銀行協会）
講師：ダイヤモンド株式会社 笠原淑郎氏
10月7日
組合親睦ゴルフコンペ（春日井カントリークラブ）



11月14～15日
第9回名古屋長者町ゑびす祭に協賛出店
平成22（2010）年
1月12日
新年賀詞交歓会（東京第一ホテル錦）
講演「商いあれこれ」
講師：豊島株式会社副会長 豊島徳三氏

パソコン研修（組合会議室）4回開催
講師：株式会社ニューホライズンジャパン 佐々木葉子氏
9月3日 「ワード基礎コース」
9月10日 「エクセル基礎コース」
9月17日 「ワード応用コース」
9月24日 「エクセル応用コース」

- 11月20日
名古屋グランパスJリーグ初優勝
- 11月23日
北朝鮮が韓国延平島を砲撃、朝鮮戦争休戦後初の直接砲撃
- 12月15日
名古屋市議会解散求めるリコール成立

全国で高齢者所在の不明相次ぐ、25名に行方不明のまま年金を支給

2010年(ニット)2月10日(ニット)、語呂でニットが重なるニットデーとなる

ランニングやウォーキングなどの人口増加でアスレチックウェア市場拡大

メンズインナー、機能とファッション両立増える

ハイキングなど、山歩きを楽しむ時のファッション、山ガールが人気

平成23(2011)年

- 2月2日
大相撲八百長問題発覚、春場所中止へ
- 2月6日
愛知県知事、名古屋市長、名古屋市議会解散の是非を問う住民投票で大村秀章氏が愛知県知事に初当選、河村たかし氏が名古屋市長に再選、名古屋市議会解散賛成が決定する
- 2月19日
東京ガールズコレクションin名古屋開催
- 3月11日
東日本大震災、国内観測史上最大のM9.0、福島原発爆発・放射能汚染深刻化、死者行方不明者約2万名
- 3月12日
信越地震、15日には静岡県東部地震といった東日本大震災に連鎖した震度6強の大型地震相次ぐ

平成22(2010)年度

- 4月16日
2011年春夏カラー&ファッションセミナー(名古屋銀行協会)
講師:ダイヤモンド株式会社 笠原淑郎氏
- 5月19日
第49回通常総会(名古屋観光ホテル)
- 8月6~8日
「双葉会」海外視察(青島)
- 9月21日
2011年秋冬カラー&ファッションセミナー(名古屋銀行協会)
講師:ダイヤモンド株式会社 笠原淑郎氏
- 10月6日
組合親睦ゴルフコンペ(春日井カントリークラブ)
- 10月23~24日
第10回名古屋長者町廻り祭りに協賛出店
- 平成23(2011)年
- 1月13日
新年賀詞交歓会(東京第一ホテル錦)
講演「日中ビジネス交流を深めるために」
講師:中華人民共和国駐名古屋総領事館総領事 張立国氏

パソコン研修(組合会議室)2回開催

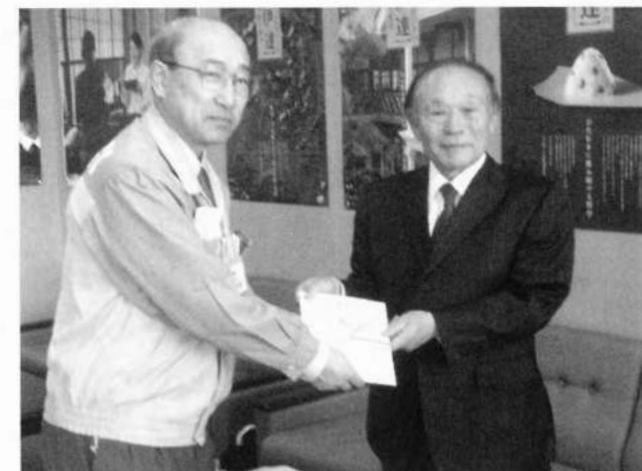
- 講師:株式会社ニューホライズンジャパン 佐々木葉子氏
- 9月10日 「ワードスキルアップ」
- 9月17日 「エクセルスキルアップ」

- 3月13日
名古屋市議会選挙で、河村市長の地域政党「減税日本」が躍進、第一党に
- 3月14日
リニア・鉄道館~夢と思い出のミュージアム~が金城埠頭にオープン
- 3月19日
世界最大のプラネタリウム、名古屋市科学館に誕生
- 5月1日
国際テロ組織・アルカイダ首領ビンラディン氏、米軍特殊部隊の奇襲作戦により、パキスタン首都イスラマバード郊外で死亡
- 6月1日
国内史上最高の被害額6億円強奪事件発生
- 7月18日
なでしこジャパン、ドイツ女子ワールドカップで初優勝、8月18日に国民栄誉賞を授与される
- 7月24日
地上デジタルテレビ放送へ完全移行
- 8月23日
リビアのカダフィ政権崩壊、42年の独裁政治に終止符
- 9月2日
野田佳彦内閣成立
- 9月2~5日
台風12号被害、紀伊半島を中心に12道県で死者・行方不明者100名以上、平成最大の暴風雨災害に
- 10月1日
名古屋コレクション初開催

環境庁がクールビズ期間を東日本大震災を受けた節電の必要性から前後1ヶ月延長し、5月1日~10月31日とする。さらに一段と軽装するスーパークールビズを提唱。それに伴い、新ビジネススタイル増える

平成23(2011)年度

- 4月13日
第14回カラー&ファッションセミナー(名古屋銀行協会)
「2012年春夏カラー&ファッショントレンド」
講師:tk.inc ファッションコーディネーター 笠原淑郎氏
- 4月26日
山口兼市理事長、宮城県庁宮城県経済観光部を訪問。河端章好部長へ東日本大震災への名古屋ニットファッション卸商業組合から災害復旧復興のため、200万円を寄付する



- 5月2日
山口兼市理事長、中日新聞社会事業団を訪問。小川信俊常務理事福祉委員へ東日本大震災への名古屋ニットファッション卸商業組合からの義援金として76万5155円を寄託する
- 5月16日
第50回通常総会(愛知県産業労働センター)
- 9月28日
第15回カラー&ファッションセミナー(名古屋銀行協会)
「2012年秋冬カラー&ファッショントレンド」
講師:tk.inc ファッションコーディネーター 笠原淑郎氏
- 10月5日
第4回組合親睦ゴルフコンペ(春日井カントリークラブ)
- 11月11日
組合創立50周年記念式典(名古屋観光ホテル)

50周年記念実行委員会の活動を振り返って

実行委員長 牧ヶ野義雄

「100年に1度」といわれるリーマン・ショックから3年、ようやく回復軌道に乗りかかった今春、国難ともいわれる東日本大震災が発生し、想定外の原発事故による放射線被害が併発しました。さらには超円高、産業の海外流出、株価の低迷など、財政、金融システム、実態経済において負の相乗作用を起しつつあります。

この激動の環境下にあつて、私は記念事業のテーマとして「温故知新」を掲げ、全組合員参加型の事業展開を目指したいとの思いから、「総務」「式典」「記念誌」「事業」の4つの部会を設けました。また、各部会には正副部会長を始め、全組合員の皆様に各部会に所属していただき、全員協力体制と致しました。

部会員の皆様には、限られた時間の中で役割を良く認識され、実力を十分に発揮していただきました。おかげさまで複雑多様な課題も順調に解決し、無事開催当日を迎えることが出来ましたこと、心より厚く感謝申し上げます。

先輩諸氏の英知と努力で築き上げられた名古屋ニットファッション卸商業組合は、必ずしも平坦な道ばかり歩いてきたのではなく、この50年の間には様々な紆余曲折がありました。それでも今日を迎えることが出来たのは、関係各位のご指導ご支援はもとより、組合員の一致団結によるものと確信致しております。

我々の業界を取り巻く環境は、消費者のライフスタイルの簡略化、個性化、店舗の大型化、中小小売店の閉鎖など、業種業態を越えた競争の激化により、産業構造が大きく変化しつつあります。

この変化の時代を迅速的確に対応しなければ、生き残ることは難しいでしょう。厳しい時代だからこそ、組合員一同が手を携え、共通の理念を共有し、「温故知新」の心を忘れず、次世代へ継承することが私達組合員の使命であると考えます。

50周年記念事業が組合員の皆様にとりまして、故きを温ねて新しきを知る助けとなり、「伝統は守るものではなく、日々新たに創り出すもの」との視点で、新しい創造への変革と挑戦の機会になることを願ってやみません。

50周年記念実行委員会経過概要

(一部敬称略)

役員会

平成18年4月19日

組合創立50周年記念事業の準備金積立を通常総会に提案することを決議
5月17日の通常総会で準備金積立が決議される

平成22年9月15日

50周年記念事業を平成23年に開催することを決定
総責任者(事業委員長)を山口理事長とし、実行委員9名を選出
委員長:牧ヶ野、委員:林、石黒、安藤、瀧、仲島、平野、茶谷、高木

平成23年4月20日

予算案決定 5月16日の通常総会で可決承認

実行委員会

平成22年10月13日

記念事業の目的

過去から現在までの功績を称え、将来の発展に向けてのターニングポイントとする

記念事業の内容を決定

- ・式典の開催:平成23年11月11日午前11時から名古屋観光ホテルにて
- ・表彰、記念品贈呈を式典にて行う
- ・懇親パーティの開催
- ・講演会の開催
- ・記念誌の発行

実行委員の役割分担

総務、式典、記念誌、事業の4つの委員会を設け、各委員長・副委員長を選出

| | | |
|----------------|---------|---------|
| 総務委員会・・・予算 | 委員長 林 | 副委員長 瀧 |
| 式典委員会・・・記念式典 | 委員長 牧ヶ野 | 副委員長 仲島 |
| 記念紙委員会・・・記念誌発行 | 委員長 安藤 | 副委員長 高木 |
| 事業委員会・・・講演会など | 委員長 石黒 | 副委員長 茶谷 |

記念事業は組合員全員参加とし、組合員を各委員会に振り分ける

平成22年12月1日

実行委員長から組合員へ記念事業各委員の委嘱状を送付

平成23年3月16日(役員会)

牧ヶ野実行委員長より4つの委員会の名称を部会に変更の提案があり了承

式典部会 部会長 仲島、 副部会長 林、山本に交代

組合創立50周年記念事業実行委員会組織図



平成23年6月8日

記念式典の案内発送先、案内状文案を検討

記念講演の講師をブラザー工業株式会社相談役 安井義博氏に決定

講演テーマは「私の人生観～経営への思い～」に

記念誌は100頁、250部発行とする

平成23年7月13日(役員会)

記念誌の装丁、表紙、カバー表紙、表題、中紙の紙質について部会原案を了承

各委員会ミーティング開催日

式典部会

平成23年2月8日

平成23年3月1日

平成23年5月10日

平成23年7月8日

平成23年8月10日

平成23年10月12日

事業部会

平成23年5月11日

平成23年7月15日

記念誌部会

平成22年11月5日

平成22年11月24日

(正副理事長合同会議)

平成23年1月20日

平成23年3月9日

平成23年4月14日

平成23年5月23日

平成23年6月21日

平成23年7月27日

平成23年9月6日

平成23年9月27日

役員名簿

| No | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|----|------|--------|-------------------|
| 1 | 理事長 | 山口 兼市 | 八木兵(株) |
| 2 | 副理事長 | 牧ヶ野 義雄 | (株)日進衣料 |
| 3 | 〃 | 林 憲志 | アイリン(株) |
| 4 | 〃 | 石黒 萬蔵 | (株)石黒商店 |
| 5 | 〃 | 安藤 馨 | (株)東京足袋本舗 |
| 6 | 常任理事 | 瀧 昌之 | 瀧定名古屋(株) |
| 7 | 〃 | 仲島 淳司 | (株)ナカシマ |
| 8 | 〃 | 梅村 篤 | (株)ギャレット |
| 9 | 〃 | 天明 義彦 | (株)銀座伊勢由 |
| 10 | 〃 | 尾関 寛津成 | (株)ク・ラッチ |
| 11 | 〃 | 宮崎 忠夫 | プランシャン(株) |
| 12 | 〃 | 森 克彦 | モリリン(株) |
| 13 | 〃 | 林 幸春 | 林八百吉(株) |
| 14 | 理事顧問 | 横山 章一 | (株)リオ横山ホールディングス |
| 15 | 理事 | 森本 敏郎 | (株)森本本店 |
| 16 | 〃 | 高橋 康之 | 八木文(株) |
| 17 | 〃 | 山本 勝 | 山本洋品雑貨(株) |
| 18 | 〃 | 小関 輝義 | 小関義(株) |
| 19 | 〃 | 滝 茂夫 | タキヒヨー(株) |
| 20 | 〃 | 森 豊 | (株)タナカ |
| 21 | 常務理事 | 岡田 秀 | 名古屋ニットファッション卸商業組合 |
| 22 | 監事 | 飯尾 昌平 | 友信商事(株) |
| 23 | 〃 | 伊藤 常行 | ヤマツネ(株) |
| 24 | 〃 | 高木 明 | 昭和交易(株) |

組合員名簿

(組合員)

| No. | 社名 | 代表者名 | 〒 | 住所 | 電話 |
|-----|------------------|--------|----------|----------------------------------|---------------|
| 1 | (株)アイジェイ | 伊藤 順二 | 487-0013 | 春日井市高蔵寺町4-7-2 MSビル403 | (0568)52-2775 |
| 2 | (株)アイファースト | 伊藤 元 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内2-17-30 ニューマルビル5FA室 | (052)209-9581 |
| 3 | アイリン(株) | 林 憲志 | 462-0042 | 名古屋市中区丸の内2-7-12 | (052)914-6789 |
| 4 | アーケエンタープライズ(株) | 鈴木 康弘 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内2-7-12 | (052)222-7671 |
| 5 | (株)石黒商店 | 石黒 裕久 | 451-0031 | 名古屋市中区丸の内2-16-30 | (052)521-3346 |
| 6 | (株)魚住 | 魚住 敏彦 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内2-16-30 | (052)231-6950 |
| 7 | 梅本(株) | 磯村 義典 | 460-0008 | 名古屋市中区栄1-13-8 | (052)231-8701 |
| 8 | (株)ヴァイスト | 栗屋 寧 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内3-18-1 第8KTビル9F | (052)957-5877 |
| 9 | (有)NT企画 | 今井 啓之 | 460-0003 | 名古屋市中区錦2-17-30 河越ビル903号 | (052)220-1350 |
| 10 | 小関義(株) | 小関 裕純 | 453-0012 | 名古屋市中村区井深町9-52 | (052)451-8210 |
| 11 | 鬼頭(株) | 鬼頭 芳一 | 466-0853 | 名古屋市中区丸の内1-5-5 | (052)757-5531 |
| 12 | 共栄ニット(株) | 高田 郁子 | 453-0012 | 名古屋市中村区井深町301 | (052)452-5320 |
| 13 | (株)ギャレット | 梅村 篤 | 462-0007 | 名古屋市中区丸の内1-5-5 | (052)903-0012 |
| 14 | (株)銀座伊勢由 | 天明 義彦 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内1-5-5 | (052)220-5961 |
| 15 | (株)ク・ラッチ | 尾關 實津成 | 462-0837 | 名古屋市中区丸の内1-5-5 | (052)916-0800 |
| 16 | (株)クリフ | 小野 忠司 | 510-0226 | 鈴鹿市岸岡町3174-1 | (0593)82-8128 |
| 17 | (株)グレースインターナショナル | 坂倉 康也 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内3-6-4 リバーパーク丸の内ビル7FB | (052)955-2708 |
| 18 | (株)グロウ | 渡辺 佳典 | 466-0851 | 名古屋市中区丸の内3-6-4 | (052)757-3705 |
| 19 | (有)ケイ・アールニット | 加古 良一 | 474-0057 | 大府市共和町荒池31番地の208 | (0562)44-0902 |
| 20 | (株)KSカンパニー | 柴田 勝康 | 470-0152 | 愛知郡東郷町北山台3-1-22 | (0561)56-4606 |
| 21 | (株)コバ | 小林 進 | 496-0853 | 津島市宮川町3-11-7 | (0567)25-5760 |
| 22 | (株)小森宮 | 小森 康光 | 500-8104 | 岐阜市美園町4-4 | (058)265-2474 |
| 23 | (株)酒井商店 | 酒井 善章 | 453-0013 | 名古屋市中村区亀島2-18-19 | (052)451-4133 |
| 24 | (株)佐藤繊維 | 佐藤 直樹 | 465-0068 | 名古屋市中村区亀島2-18-19 | (052)704-7007 |
| 25 | (有)サンエムワイ | 武藤 達宏 | 491-0873 | 一宮市せんい2-6-30 | (0586)81-3775 |
| 26 | (株)サンプロス | 小林 俊彦 | 464-0848 | 名古屋市中区丸の内2-18-22 | (052)763-2282 |
| 27 | (株)サンポー | 今枝 肇 | 485-0044 | 小牧市常普請1-243 | (0568)71-3714 |
| 28 | (株)シノワ | 木村 成孝 | 460-0003 | 名古屋市中区錦2-9-14 伏見スクエアビル3F | (052)253-7201 |
| 29 | 昭和交易(株) | 高木 明 | 460-0008 | 名古屋市中区栄1-5-8 | (052)221-8225 |
| 30 | (有)ジャンプ | 岩田 ひろみ | 462-0845 | 名古屋市中区丸の内2-18-22 | (052)991-3688 |
| 31 | JNニット | 長尾 貞正 | 496-0024 | 津島市半頭町東之割42の3 | (0567)32-4350 |
| 32 | (有)ゼロ | 奥野 秀樹 | 463-0070 | 名古屋市中区丸の内2-18-22 | (052)795-1157 |
| 33 | そぶえ産業(株) | 祖父江 嘉成 | 491-0064 | 一宮市宮西通7-9-1 | (0586)71-7180 |
| 34 | 瀧定名古屋(株) | 瀧 昌之 | 460-8667 | 名古屋市中区錦2-13-19 | (052)201-0779 |

| No. | 社名 | 代表者名 | 〒 | 住所 | 電話 |
|-----|-----------------|--------|----------|------------------------------|----------------|
| 35 | タキヒヨー(株) | 滝 茂夫 | 451-8688 | 名古屋市中村区牛島町6-1 | (052)587-7111 |
| 36 | (株)タナカ | 森 豊 | 453-0816 | 名古屋市中村区京田町2-32 | (052)481-9585 |
| 37 | ダイセン(株) | 水崎 孝一 | 453-0018 | 名古屋市中村区佐古前町16-15 | (052)461-2223 |
| 38 | (株)チャームホワイト | 田村 貴洋 | 453-0801 | 名古屋市中村区太閤3-7-76 | (052)453-1011 |
| 39 | (株)東京足袋本舗 | 安藤 馨 | 457-0072 | 名古屋市中村区寺部通3-7-1 | (050)3733-0123 |
| 40 | 東洋ベビー用品(株) | 野田 博康 | 451-0066 | 名古屋市中村区寺部通3-7-1 | (052)523-1435 |
| 41 | 豊島(株) | 豊島 俊明 | 460-8671 | 名古屋市中区錦2-14-17 | (052)204-7711 |
| 42 | (株)ナカシマ | 仲島 淳司 | 460-0003 | 名古屋市中区錦2-19-10 | (052)231-2536 |
| 43 | (株)日進衣料 | 牧ヶ野 義雄 | 452-0813 | 名古屋市中区錦2-19-10 | (052)982-6011 |
| 44 | ノイ・カンパニー(株) | 今村 芳樹 | 461-0014 | 名古屋市中区錦2-19-10 | (052)937-2677 |
| 45 | (株)ノブスタイル | 神谷 正信 | 460-0008 | 名古屋市中区栄1-18-1 ハイツサンライズ1F | (052)229-1633 |
| 46 | 林八百吉(株) | 林 幸春 | 460-0003 | 名古屋市中区錦2-10-34 | (052)201-3338 |
| 47 | (株)パッファロー | 服部 兼春 | 500-8227 | 岐阜市北一色5-14-24 | (058)245-0471 |
| 48 | (株)プランシヤン | 竹畑 政徳 | 490-1144 | 海部郡大治町大字西條字諏訪18 | (052)443-0909 |
| 49 | (株)丸銭屋 | 中本 守彦 | 460-0026 | 名古屋市中区伊勢山2-11-3 | (052)332-6111 |
| 50 | (株)マルト長谷川 | 長谷川 順一 | 451-0052 | 名古屋市中区栄1-12-1 栄生センター | (052)561-3411 |
| 51 | (株)マルマサ商店 | 内藤 桂一郎 | 460-0003 | 名古屋市中区錦2-6-21 | (052)231-4309 |
| 52 | (株)ミヤジマ | 宮島 嘉子 | 503-0816 | 大垣市小泉町391-2 | (0584)75-3209 |
| 53 | 名南(株) | 南 健一郎 | 452-0001 | 清須市西枇杷島町古城1-1-2 | (052)501-4351 |
| 54 | (株)森本本店 | 岡田 康男 | 491-0871 | 一宮市浅野字西大土96番地 | (0586)75-0221 |
| 55 | モリリン(株)名古屋支店 | 森 克彦 | 460-8679 | 名古屋市中区錦2-3-8 | (052)231-6280 |
| 56 | (株)モンロー | 酒井 正明 | 462-0844 | 名古屋市中区錦2-3-8 | (052)915-4147 |
| 57 | 八木兵(株) | 山口 兼市 | 460-8602 | 名古屋市中区錦2-3-16 | (052)201-8001 |
| 58 | 八木文(株) | 高橋 康之 | 460-0008 | 名古屋市中区錦2-4-12 | (052)201-8041 |
| 59 | (株)山克 | 山田 勉 | 453-0813 | 名古屋市中村区二ッ橋町1-5 | (052)471-3460 |
| 60 | (株)山口 | 山口 勝弘 | 453-0812 | 名古屋市中村区西米野町4-31 | (052)471-1001 |
| 61 | (株)ヤマダ | 大畑 久洋 | 453-0812 | 名古屋市中村区西米野町3-20 | (052)471-9137 |
| 62 | ヤマツネ(株) | 伊藤 精孝 | 453-0835 | 名古屋市中村区上石川町1-54 | (052)411-5285 |
| 63 | 山本洋品雑貨(株) | 山本 勝 | 460-0003 | 名古屋市中区錦2-10-30 | (052)204-1113 |
| 64 | 友信商事(株) | 飯尾 昌平 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内2-18-22 三博ビル701号 | (052)203-1335 |
| 65 | (株)リオ横山ホールディングス | 横山 和幸 | 460-0021 | 名古屋市中区平和1-15-27 | (052)331-1145 |
| 66 | (株)ワンエンドワン | 中岡 勲 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内3-20-5 オアシス日向504 | (052)253-9227 |

(賛助会員)

| No. | 社名 | 代表者名 | 〒 | 住所 | 電話 |
|-----|-----------|-------|----------|---------------------------|---------------|
| 1 | (株)エスト | 古田 明広 | 503-0801 | 大垣市和合新町1-89 中村第5ビル201号 | (0584)78-6182 |
| 2 | (株)コモアルファ | 佐藤 雅夫 | 501-6257 | 羽島市福寿町平方7-1-2 | (058)398-3821 |
| 3 | (株)赤堀 | 赤堀 俊一 | 437-1507 | 菊川市赤土1160-1 | (0537)73-2157 |



名古屋ニットファッション卸商業組合のページへようこそ。

| | | | | |
|------|-------|------|--------|-----------|
| 組合概要 | 組合員紹介 | 組合加入 | TOPICS | セミナー・イベント |
|------|-------|------|--------|-----------|

東日本大震災におきまして、甚大な被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。義援金の募金にご協力ありがとうございました。31社2団体より2,765,515円となりました。総務省、経済産業省では、平成24年2月1日現在で経済センサス-活動調査を実施します。経済センサス-活動調査は、我が国の産業構造を包括的に明らかにすることを目的に、統計法に基づいた報告義務のある基幹統計調査で、全ての企業・事業所を対象に実施されます。詳細は経済センサス総合ガイドを参照ください。

更新情報

- 2011-08-21
10月17日から開催の労働法講座Ⅱのご案内
7月20日開催のグローバル・リスクマネジメント・セミナーのご案内
- 2011-06-16
7月22日開催の2012春夏婦人服マーケット商品企画講座のご案内
経済センサス総合ガイドのご案内
- 2011-06-13
9月2日から開催の労働総合講座のご案内
7月20日開催の人事考課の実務と考課者訓練のご案内
7月9日開催の決算書の見方セミナーのご案内
7月8日から開催の人材育成セミナーのご案内
6月30日開催の節電対策講演会(追加講演)のご案内

組合事務局からのお知らせ

- 平成23年度前期賦課金を請求中です。
- 団体国内生産物賠償責任保険(PL保険)引受保険会社: 損害賠償ジャパン の更新日は7月1日です。加入申込み受付は終了いたしました。保険料がわかり次第お知らせいたします。
- 組合創立50周年記念事業について
創立50周年記念式典・講演・懇親パーティを平成23年(2011年)11月11日午前11時から名古屋観光ホテルで行います。また組合50年史発行の予定です。
- 団体定期保険(グループ保険)引受保険会社: 太陽生命保険株式の新規加入、加入口数変更は随時受付しています。
- 日本ニット中央卸商業組合連合会発行の「ニット製品便利帳」が事務局に若干部数あります。社員教育等に活用ください。
- ホームページ作成の組合員は、事務局までご連絡ください。組合員紹介のページでリンクします。

PDFファイルをご覧いただくには、Adobe Readerのインストールが必要です。

契約保養所のご案内

志摩別邸 ひろはま荘 (三重県志摩郡志摩町和具)
施設のご案内は ▶ [こちらから](#)

セミナー・イベントのご案内

組合事務局に郵送・FAX・メールで届く研修・講習・交流イベント等の情報を、主催(情報提供)団体別に紹介します。
詳細は ▶ [こちらから](#)

TOPICS

組合事務局に郵送・FAX・メールで届く諸団体の事業等の情報やお知らせを、PDF形式などで掲載します。
詳細は ▶ [こちらから](#)

組合行事開催のお知らせ

7月13日(水)役員会開催通知 [NEW](#)

会議報告

平成19年度以降の会議報告を掲載いたします。
平成23年5月18日(水) 第50回通常総会報告
平成23年4月20日(水) 役員会報告
平成22年度会議報告
平成21年度会議報告
平成20年度会議報告
平成19年度会議報告

[このページのトップに戻る](#)

| | | | | |
|-----|------|------|-----|--------|
| ホーム | 組合行事 | アクセス | リンク | サイトマップ |
|-----|------|------|-----|--------|

名古屋ニットファッション卸商業組合

| | | | | |
|-----|------|-------|--------|-----------|
| ホーム | 組合概要 | 組合員紹介 | TOPICS | セミナー・イベント |
|-----|------|-------|--------|-----------|

組合加入のご案内

ご挨拶

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本組合では優良企業の方々の積極的な加入運動を展開しております。

現代社会は情報をいち早く多く収集し、その中で成果に繋がる展開をしていく、これが一番重要です。本組合にご加入いただくことにより、業界の様々な情報が入手でき、経営改善等についてのお役に立ちます。会社の繁栄のため、従業員の研修や福利厚生等に本組合を是非ご活用ください。また業界の発展にもご助力いただきたく存じます。

本組合は平成23年度には創立50年を迎え、伝統と歴史を重んじながらこれを節目として、更に飛躍していきたいと考えております。本組合事業の趣旨をご賢察の上、ご検討を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご加入申込みを心からお待ちしております。

名古屋ニットファッション卸商業組合
理事長 山口兼市



加入資格

- 組合員
・愛知県内でニット製品の卸売業を営む事業者
- 賛助会員
・愛知県外でニット製品の卸売業を営む事業者
・上記以外の事業を営む事業者

お問合せ先

組合事務局までご連絡ください。

住所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-28
ナビシティ丸の内202号
名古屋ニットファッション卸商業組合事務局
電話 052-204-8651 FAX 052-204-8652
E-mail info@758knit.com
業務時間 平日午前9時～午後5時
休業 土日祝日
年末年始 12月29日～1月3日
お盆 8月13日～15日

※加入申込書 ▶ [組合員用はこちら](#)
[賛助会員用はこちら](#)

※加入お申込みの際には、会社案内または会社概要と会社謄本を添付していただきますようお願いいたします。

組合加入のメリット

1. 組合員相互の経営等に関する様々な情報交換ができます。
2. 団体名表示(組合登録番号)の活用
従来の繊維製品品質表示制度が改正され、格安の料金で組合登録番号が取得できます。
3. 団体国内生産物賠償責任保険(PL保険)に低廉な保険料で加入できます。
4. 事業主、従業員を対象とした災害保障特約付き団体定期保険(グループ保険)に割引保険料で加入できます。
5. 春夏・秋冬のカラー&ファッションセミナーやパソコン研修に格安の参加料で受講できます。
6. 春夏・秋冬のヨーロッパコレクションセミナーや商品企画セミナーが受講できます。
7. 名古屋商工会議所、愛知県中小企業団体中央会、名古屋中法人会などを通し、人材育成、研修等の講座実践、経営診断、法律等の専門相談、倒産防止共済制度などが利用できます。
8. 組合員相互の交流を深めるため、親睦会や賀詞交歓会などの福利厚生の催しに参加できます。
9. 組合と契約した保養施設に割引料金で宿泊ができます。

[このページのトップに戻る](#)

| | | | | |
|------|------|------|-----|--------|
| 組合加入 | 組合行事 | アクセス | リンク | サイトマップ |
|------|------|------|-----|--------|

名古屋ニットファッション卸商業組合

[ホーム](#) | [組合概要](#) | [組合員紹介](#) | [組合加入](#) | [TOPICS](#)

組合行事スケジュール

平成23年度予定

| 月日 | 行事 | 時間 | 場所 |
|------------------------|---|----------------------------|-----------------------------|
| 4月13日(水) | 第14回カラー&ファッションセミナー 「2012年春夏カラー&ファッショントレンド」 | 13:30~16:00 | 名古屋銀行協会403号室 |
| 4月15日(金) | 監事監査 | 13:30~14:30 | 組合事務所 |
| 4月20日(水) | 役員会 | 12:00~14:00 | 組合事務所 |
| 5月18日(水) | 第50回通常総会 組合懇親会 | 15:30~16:30 17:30~19:30 | 愛知県産業労働センター904会議室 北京料理百楽 |
| 6月2日(木) | 連合会総会 | 11:30~14:30 | セント・レジス大阪 |
| 6月8日(水) | 組合創立50周年記念事業実行委員会 | 13:30~15:00 | 組合事務所 |
| 7月13日(水) | 役員会 | 12:00~14:00 | 組合事務所 |
| 9月14日(水) | 役員会 | 12:00~14:00 | 組合事務所 |
| 9月28日(水) | 第15回カラー&ファッションセミナー 「2012年秋冬カラー&ファッショントレンド」 | 13:30~16:00 | 名古屋銀行協会403号室 |
| 10月5日(水) | 第4回組合親睦ゴルフコンペ | | 春日井カントリークラブ |
| 11月11日(金) | 組合創立50周年記念式典 | 11:00~14:20 | 名古屋観光ホテル2階曙の間 |
| 11月12日(土) 11月13日(日) | 第11回名古屋長者町蚤ひす祭 | 10:00~17:00 10:00~16:00 | 長者町商店街 |
| 1月13日(金) | 新年賀詞交歓会 | 17:00~20:00 | 名古屋観光ホテル18階伊吹の間 |
| 3月14日(水) | 役員会 | 12:00~14:00 | 組合事務所 |

平成22年度スケジュールは [こちらから](#)
 平成21年度スケジュールは [こちらから](#)
 平成20年度スケジュールは [こちらから](#)
 平成19年度スケジュールは [こちらから](#)
 平成18年度スケジュールは [こちらから](#)

[このページのトップに戻る](#)

[組合行事](#) | [セミナー・イベント](#) | [アクセス](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)

名古屋ニットファッション卸商業組合の創立50周年を記念し、本誌を刊行する運びとなりました。

戦後経済史の背骨の部分と軸を一にするこの半世紀は、ニット業界にとってもまた「流通革命」がキーワードとなり、これを経軸に時系列を追えば、日米繊維交渉に端を発し、ニクソンショック、プラザ合意などを経て、恒常的な円高サイクルの中で発生したバブル経済の崩壊など、いくつかの大きなピークを越え、失われた直近の20年、そして今もまだ抜け出せないデフレスパイラルの谷底で、気がつけば生産も流通も大きく構造的変化を遂げ、ハイエンドな消費性向多様化の流れに沿った地殻変動が、今日もなお進行中であります。

この激流のはざままで、組合と組合員企業の50年は、「汗と智」を原資に、時には苛酷なサファリの中でも名古屋商人のレンピを随所に配し、健全懸命な企業活動を通じ、ひたすら社会的存在価値の向上を追い求める堆積の日々であり、合言葉は常に“Persistence is a key to a success”（継続は力なり）でありました。

本誌は、組合設立以来の初の試みとして、1/2世紀に亘る組合の事跡をたどり、それぞれの時代に先駆けて、大きな成果を得たニット業界の先達の偉業に光を当てるとともに、遺された資料をひもとき整理し、出来るだけ正確に記録して広く後世に伝え遺し、未来への展開に資するを企り、ますます混迷混沌の度合いを深める業界の明日へ向かって、果敢な「勇気と知恵」を糧に、夫々の企業が次の50年へ組合と手を携え、道を拓くに供されるを切望致します。

発刊にあたり、名古屋市長、並びに名古屋商工会議所会頭殿からは、丁重な寄稿を賜り、深甚なる御礼を申し上げます。

編纂には、元センイ・ジャナルの内倉丈士氏に格別なご指導と協力を頂き、組合員、組合員OBの皆様には取材や資料の提供でご支援を、また後述の編集委員の諸氏には業務多用の中、ご尽力をお願い致しました。あわせて深く感謝申し上げる次第でございます。

2011年11月11日
 記念誌部会 高木 明

歩み

名古屋ニットファッション卸商業組合創立 50 周年記念誌部会スタッフ

山口兼市（八木兵株式会社代表取締役社長）

牧ヶ野義雄（株式会社日進衣料代表取締役）

安藤馨（株式会社東京足袋本舗代表取締役）

高木明（昭和交易株式会社代表取締役）

岡田秀（名古屋ニットファッション卸商業組合常務理事）

内倉丈士（フリーライター）

歩み

～名古屋ニットファッション卸商業組合創立 50 周年記念誌～

発行 名古屋ニットファッション卸商業組合

〒460-0002

名古屋市中区丸の内1丁目15番28号

ナビシティ丸の内202号

電話：(052) 204-8651 FAX：(052) 204-8652

E-mail : info@758knit.com ホームページ：http://www.758knit.com/

編集： 組合50周年記念誌部会

印刷日：平成23年10月31日

発行日：平成23年11月11日

印刷：(株) ブイツーソリューション